

AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド

省電力管理ツール編

第 18 版

■対象製品

このマニュアルの対象製品は AX-Networker's-Utility (省電力管理ツール Version 2.10)です。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

IPX は、Novell,Inc.の商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2020年 3月 (第18版)

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2009, 2020, ALAXALA Networks, Corp.

変更内容

【Ver. 2.10】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.3 利用環境	表 1-1 装置側環境で, 対象ソフトウェアバージョンを更新しました。 表 1-2 省電力管理 PC 側環境で, 以下を更新しました: ・動作確認済み Java 実行環境を更新

なお, 単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

■対象製品およびバージョン

このマニュアルは AX-Networker's-Utility (省電力管理ツール) を対象に記載しています。また、ツールバージョン Ver. 2.10 の機能について記載しています。操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

■対象読者

本製品を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象としています。また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識
- 装置に関する基礎的な知識

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

<http://www.alaxala.com/>

■このマニュアルでの表記

略語を以下に示します。

API	Application Programming Interface
AXCM	Alaxala Config Master (AX-Config-Master)
CA	Certificate Authority
CLI	Command Line Interface
CSV	Comma Separated Values
DB	Data Base
GUI	Graphical User Interface
HTTP	HyperText Transfer Protocol
ID	Identifier
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPX	Internetwork Packet Exchange
JRE	Java SE Runtime Environment
L2	Layer 2
L3	Layer 3
LAN	Local Area Network
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
MAC	Media Access Control
OAN	Open Autonomic Networking
ON	Open Networking
PC	Personal Computer
SDK	Software Development Kit
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTF	Simple Mail Transfer Protocol

SQL	Structured Query Language
SSL	Secure Socket Layer
TCP	Transmission Control Protocol
TLS	Transport Layer Security
VLAN	Virtual LAN
VRF	Virtual Routing and Forwarding
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable
XML	Extensible Markup Language

製品の正式名称と、このマニュアルでの表記を次の表に示します。

正式名称	このマニュアルでの表記
Java SE Runtime Environment	Java
Java SE Development Kit	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Operating System	Windows Server 2008 R2 または Windows
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Operating System	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard Operating System	Windows Server 2012 R2 または Windows
Microsoft® Windows® 7 Professional	Windows 7 または Windows
Microsoft® Windows® 7 Enterprise	
Microsoft® Windows® 7 Ultimate	
Microsoft® Windows® 8.1 Pro	Windows 8.1 または Windows
Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise	
Microsoft® Windows® 10 Pro	Windows 10 または Windows
Service Pack	SP

■KB(バイト)等の単位表記について

1KB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024×1,024 バイト, 1,024×1,024×1,024 バイト, 1,024×1,024×1,024×1,024 バイトです。

■このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号について説明します。

記号	説明
[] (角括弧)	メニュー名, 画面名, またはフィールド名を表します。 メニュー名を表す場合は, 上位メニューから下位メニューへとメニューが階層化されていて, 下位のメニューを示す場合は, 上位と下位のメニュー名の間をハイフンでつないで表記します。 例: [ファイル] - [終了] 画面名を表す場合は, 角括弧内に画面名を表記します。 例: [IP アドレスの入力] 画面 フィールド名を表す場合は, 角括弧内にフィールド名を表記します。 例: [IP アドレス] 欄
[] (きつ甲)	ダイアログボックス内のボタン名を表します。 ダイアログボックス内のボタン名は, 括弧内にそのボタンのラベル名を表記します。 例: [終了] ボタン

目次

1. はじめに	1
1.1 こんなことができます	2
1.2 収容条件	12
1.3 利用環境	13
1.4 注意事項	15
2. 準備	17
2.1 省電力管理ツールのインストール	18
2.2 装置の設定を行う	20
2.3 省電力管理 PC の設定を行う	23
3. 省電力設定	25
3.1 装置を登録する	26
3.2 装置の省電力設定を行う	36
4. ツールの設定ファイル	63
4.1 設定ファイル	64
4.2 設定項目一覧	65
5. トラブルシューティング	69
5.1 トラブル発生時の対応	70
5.2 メッセージ一覧	74
5.3 ログファイル	95

1. はじめに

この章では、省電力管理ツールの概要について説明します。

[1.1 こんなことができます](#)

[1.2 収容条件](#)

[1.3 利用環境](#)

[1.4 注意事項](#)

1.1 こんなことができます

AX-Networker's-Utility（省電力管理ツール）は、ネットワーク上に存在する装置の省電力設定をリモートから管理できます。

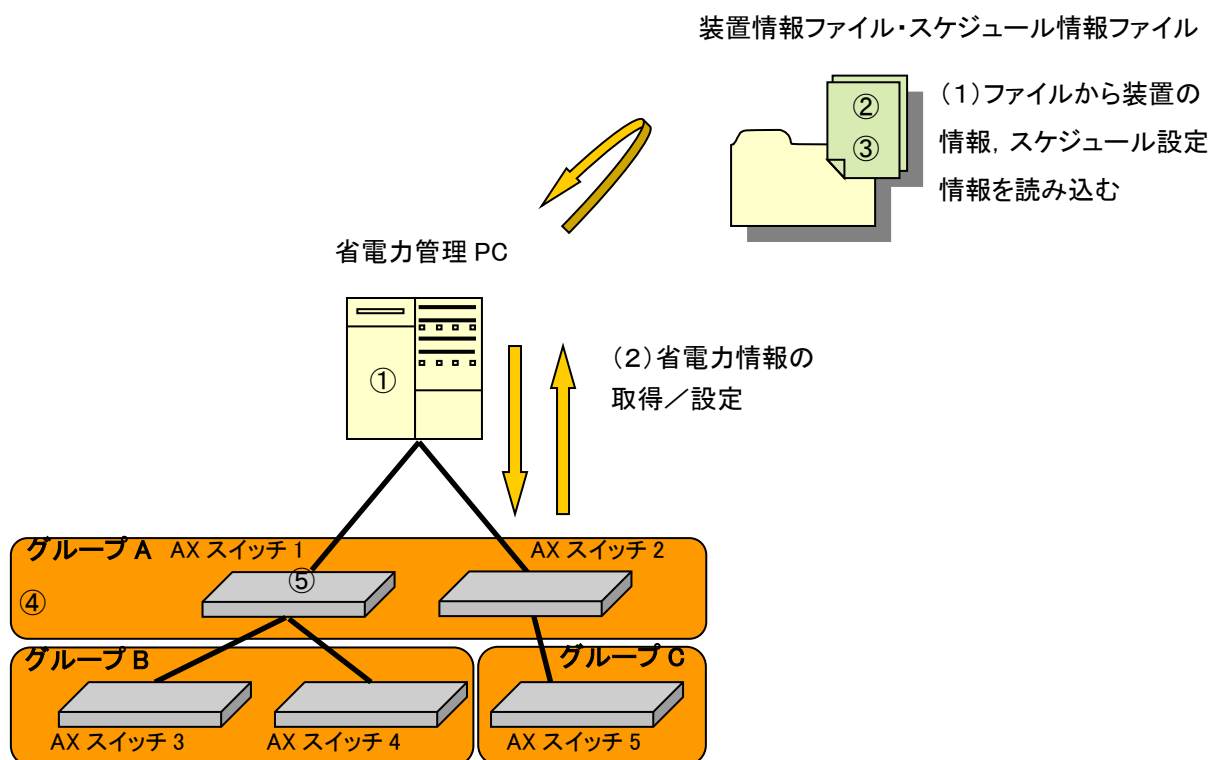
- 装置用の省電力設定を即時に変更できます。あるいは、スケジュールに従って変更することにより、ネットワークトラフィックの少ない期間または時間帯、休日などに装置を省電力設定にすることができます。
- 装置用の省電力設定の変更を、GUI を利用して簡単に実施できます。装置の省電力設定を一括変更する等、省電力設定の対象装置の台数が多い場合に、作業者の負荷を軽減できます。
- 装置およびグループの消費電力量を、GUI を利用して簡単に確認できます。

これにより、装置の利用者の少ない期間または時間帯に省電力モードで装置を運転させたい場合や、装置モデル毎にコマンド投入内容が異なる省電力設定をGUI から容易に行えるようになり、効果も GUI 上から確認できます。

1.1.1 省電力管理ツール構成

省電力管理ツールの構成を図に示します。

図 1-1 省電力管理ツールの構成



構成要素を以下に示します。

① 省電力管理 PC

AX-Networker's-Utility(省電力管理ツール)をインストールしたPCです。各装置の省電力設定を即時に、あるいは、スケジュールに従って設定します。

② 装置情報ファイル

グループとグループに所属する装置の情報を記載した, CSV 形式のファイルです。省電力管理ツールから, グループ, 装置の登録を行って作成するか, スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成します。

③ スケジュール情報ファイル

省電力設定を行うスケジュールの情報を記載した、CSV 形式のファイルです。省電力管理ツールから、スケジュールの登録を行って作成するか、スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成します。

④ グループ

装置の省電力設定を行う操作単位です。グループへは複数の装置を登録することができます。即時実行および予約実行で、一括して省電力設定を変更することが可能です。

⑤ 装置

省電力設定を行う対象の装置です。即時実行では、装置 1 台ずつでも省電力設定を変更できます。

1.1.2 画面構成

省電力管理ツールの画面構成を以下に示します。

図 1-2 省電力管理ツールの画面構成 (1)

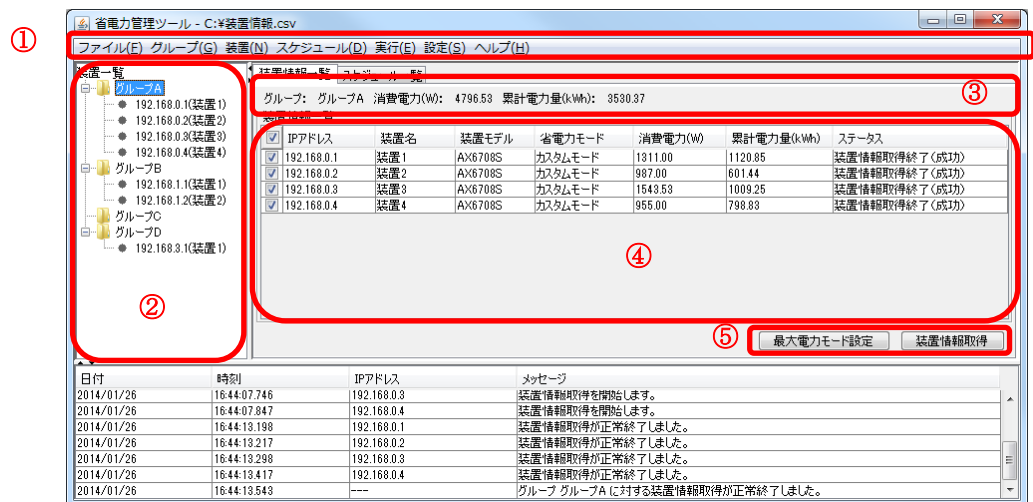
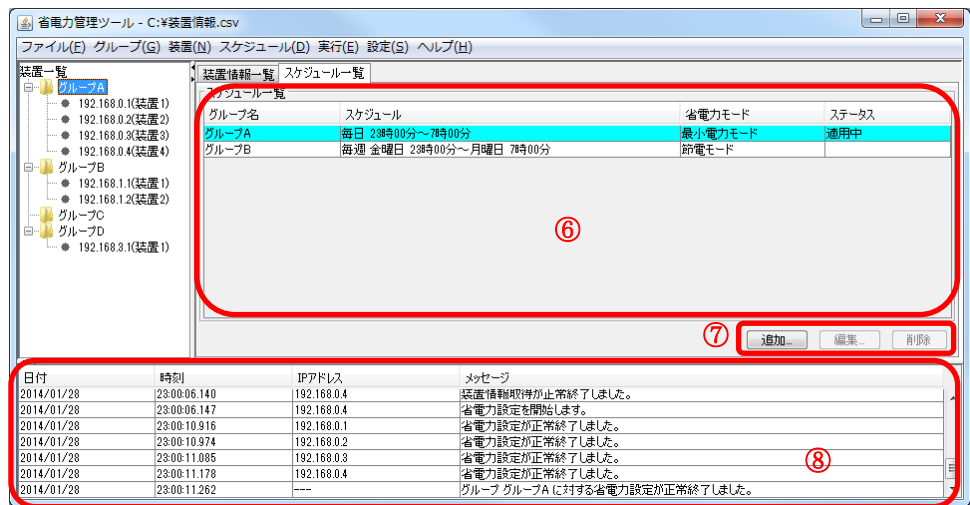


図 1-3 省電力管理ツールの画面構成 (2)



画面を構成する要素の説明を以下に示します。

① メインメニュー

省電力管理ツールの操作を行うためのメニュー項目が定義されています。

② 装置一覧ツリー

装置をグループ毎にツリー表示します。グループの追加／変更／削除，装置の追加／変更／削除，省電力設定の即時実行ができます。

③ グループ情報

選択したグループとその電力情報を表示します。

- ・ グループ…装置一覧ツリーにて選択したグループ名を示します。
- ・ 消費電力(W)…グループ内装置の消費電力の合計を示します。
- ・ 累計電力量(kWh)…グループ内装置の消費電力量の合計を示します。

④ 装置情報テーブル

各グループに所属する装置の情報を一覧表示します。テーブルの左から順に以下の情報を表示します。ヘッダをクリックすると，クリックした列の内容でソートできます。(ただしチェックボックス列はソートできません。)

- ・ 処理対象かどうか (チェックボックス列) …装置操作ボタンを押下した際，装置が処理対象かどうかを示します。
- ・ IP アドレス…装置へ付与した IPv4 アドレスを示します。
- ・ 装置名…装置へ付与した装置名を示します。
- ・ 装置モデル…装置のモデルを示します。

- ・ 省電力モード…装置に適用中の省電力設定のモードを示します。以下が表示されます。

最大電力モード：最大電力（省電力なし）設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

節電モード：節電設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

最小電力モード：最小電力設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

カスタムモード：カスタム設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

装置スリープ：ツールから装置スリープをスケジュールし、装置スリープ実施中（AX3800S, AX3650S, AX2500S, AX1250S, AX1240S シリーズ）※1

—：装置稼働中（AX3800S, AX3650S, AX2500S, AX1250S, AX1240S シリーズ）

空白：ツール起動後、装置情報未取得

- ・ 消費電力(W)…装置の消費電力を示します。ツール起動後、装置情報未取得の場合には空白が表示されます。また、AX1250S, AX1240S シリーズの場合には、— が表示されます。
- ・ 累計電力量(kWh)…装置の累計電力量を示します。ツール起動後、装置情報未取得の場合には空白が表示されます。また、AX1250S, AX1240S シリーズの場合には、— が表示されます。
- ・ ステータス…装置の処理状況を示します。処理実行中は緑色で表示され、処理失敗時はピンク色で表示されます。処理には、設定変更、装置情報取得、消費電力情報取得があります。状態には、実行待ち、実行中、終了（成功）、終了（失敗）、終了（中止）があります。表示される内容としては、処理および状態の文字列の組み合わせになります。

⑤ 装置操作ボタン

以下の操作を行うボタンです。

- ・ 最大電力モード設定…装置一覧ツリー上で選択されているグループまたは装置に対して、省電力設定を最大電力モードに設定します。
- ・ 装置情報取得…装置一覧ツリー上で選択されているグループまたは

装置から、装置モデル情報および省電力情報を取得します。

⑥ スケジュール情報テーブル

各グループに設定されているスケジュール情報を一覧表示します。テーブルの左から順に以下の情報を表示します。ヘッダをクリックすると、クリックした列の内容でソートできます。

- ・ グループ名…グループ名を示します。
- ・ スケジュール…対象のグループに設定されているスケジュールの内容を示します。スケジュールには毎日、毎週、指定日時があり、スケジュール設定が有効な場合には、以下のように表示されます。

毎日 H時 mm分～H時 mm分

毎週 E曜日 H時 mm分～E曜日 H時 mm分

指定日時 YYYY年 M月 D日 H時 mm分～YYYY年 M月 D日 H時 mm分

H…0～23, mm…00～55(5分刻み)

E…月, 火, 水, 木, 金, 土, 日のいずれか

YYYY…4桁の年で、指定時から20年後まで

M…1～12

D…1～31

スケジュール設定が無効な場合には、なし と表示されます。

- ・ 省電力モード…予約実行で設定する省電力設定のモードを示します。以下が表示されます。

最大電力モード：最大電力（省電力なし）設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

節電モード：節電設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

最小電力モード：最小電力設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

カスタムモード：カスタム設定（AX6700S, AX6600S, AX6300S シリーズ）※1

装置スリープ：ツールから装置スリープをスケジュールし、装置スリープ実施中（AX3800S, AX3650S, AX2500S, AX1250S, AX1240S シリーズ）※1

- ・ ステータス…スケジュールの実行状況を示します。スケジュールの開始時と終了時には省電力設定の切替が行われますが、省電力設定の切替中は緑色、省電力設定の切替に失敗した時はピンク色で表示されます。また、スケジュールによる省電力設定を適用中の間は水色で表示されます。ここでは、切替中、適用中、終了、終了失敗、適用失敗が表示されます。

⑦ スケジュール操作ボタン

以下の操作を行うボタンです。

- ・ 追加…装置一覧ツリー上で選択されているグループに対して、省電力設定スケジュールの登録を行います。
- ・ 編集…スケジュール情報テーブルで選択されているスケジュールの内容を変更します。
- ・ 削除…スケジュール情報テーブルで選択されているスケジュールを削除します。

⑧ ログ情報テーブル

画面操作、処理状況を時系列に表示します。ヘッダをクリックすると、クリックした列の内容でソートできます。

※1…各省電力モード

最大電力モード：

省電力に関する設定がされていない状態になります。

節電モード：

以下の設定がされている状態になります。

- ・ スイッチングユニットと NIF ボードの消費電力を下げて動作する。
- ・ 運用系スイッチングユニットを 1 枚にする。
- ・ 待機系スイッチングユニットの電力供給を一部 OFF にする。

最小電力モード：

以下の設定がされている状態になります。

- ・ スイッチングユニットと NIF ボードの消費電力を下げて動作する。
- ・ 運用系スイッチングユニットを 1 枚にする。
- ・ NIF ポート LED を消灯する。

カスタムモード：

以下の各項目を選択して省電力設定を行うことができます。

- ・スイッチングユニットと NIF ボードの電力制御設定。
- ・ NIF ボードに対する電力供給設定。
- ・ NIF ポートの LED 動作設定。
- ・スイッチングユニットに対する電力供給設定。
- ・スイッチングユニット稼働枚数設定。
- ・待機系スイッチングユニットの給電設定。

装置スリープ：

装置スリープの設定行います。装置のマニュアル（「コンフィギュレーションガイド」の「省電力機能」）を参照してください。

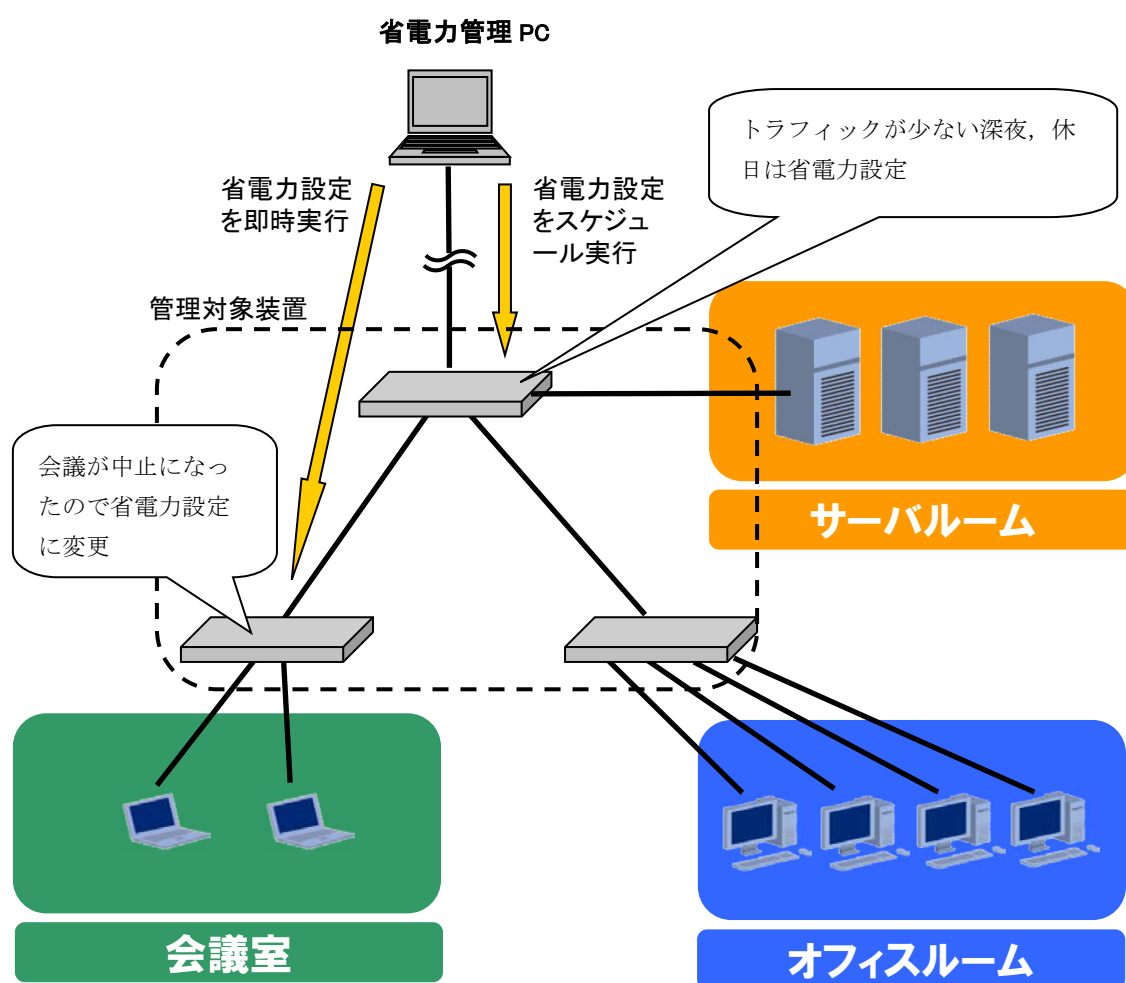
1.1.3 使用例

本節では, 各ユースケースに応じた, 省電力管理ツールの使用例を説明します。

例 1：スケジュールによる省電力設定や即時の省電力設定を実行する

省電力設定のスケジュールを登録することで, 毎日の時間帯, 毎週の指定曜日の時間から指定曜日の時間まで, または指定の期日から指定の期日まで, 指定した省電力設定で装置を運転できます。

図 1-4 スケジュールによる省電力設定や即時の省電力設定を実行する



例 2 : アプリケーション起動ツール等から本ツールを起動したい場合

コマンドライン文字列を登録してアプリケーションを起動するツール（アプリケーションランチャ）等から本ツールを起動したい場合には，以下の作業ディレクトリ（カレントディレクトリ）およびコマンドライン文字列を指定してください。

[作業ディレクトリ]

<TARGETDIR>%EnergySavingTool

[コマンドライン文字列] ※1 行で記述します

"<TARGETDIR>%EnergySavingTool%EnergySavingTool.bat"

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ

デフォルトは C:%Alaxala%AX-Networker's-Utility

1.2 収容条件

省電力管理ツールの収容条件を示します。

(1) 同時処理数

同時に処理できる装置台数の上限は 5 台です。

(2) ログ情報テーブルのレコード数

ログ情報テーブルのレコード数の上限は 3000 エントリです。

1.3 利用環境

省電力管理ツールの利用環境を以下に示します。

表 1-1 装置側環境

対象装置	AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX3800S/AX3650S AX2500S/AX1250S/AX1240S
対象ソフトウェア バージョン	AX6700S/AX6600S/AX6300S…11.2～11.9.U AX3800S…11.6～11.14.R※1 AX3650S…11.5～11.14.R※1 AX2500S…3.1.A～4.15※1 AX1250S/AX1240S…2.2.D～2.10

※1 AX3800S/AX3650S/AX2500S のスタック構成時は未サポートです。

表 1-2 省電力管理 PC 側環境

推奨 OS ※1	32bit 版 Windows 7 Professional (x86) SP なし, SP1 32bit 版 Windows 7 Enterprise (x86) SP なし, SP1 32bit 版 Windows 7 Ultimate (x86) SP なし, SP1 32bit 版 Windows 8.1 Pro (x86) SP なし 32bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x86) SP なし 32bit 版 Windows 10 Pro (x86) Version 1809 64bit 版 Windows Server 2008 R2 Standard (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows Server 2012 R2 Standard (x64) SP なし 64bit 版 Windows 7 Professional (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows 7 Enterprise (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows 7 Ultimate (x64) SP なし, SP1 64bit 版 Windows 8.1 Pro (x64) SP なし
-------------	--

	64bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x64) SP なし 64bit 版 Windows 10 Pro (x64) Version 1809
CPU	インテル Core 2 Duo 以上
メモリ	2GB 以上
HDD	1.9GB 以上
Java 実行環境	JRE 8※2 Oracle JDK 11(LTS)※2

※1 Linux 等推奨環境以外でも動作します（動作保証外です）

※2 動作確認済みの Java 実行環境は以下になります。

- ・ JRE 8 Update 241
- ・ JDK 11.0.2～11.0.6

上記より新しいアップデートリリースについては動作保証外になります。

1.4 注意事項

省電力管理ツールを利用する上での注意事項を以下に示します。

(1) ファイルパスの最大長

本ツールで扱うファイルについて、そのファイルパスの最大長は、本ツールを利用するオペレーティングシステムで決まります。そのため、オペレーティングシステムがサポートしているファイルパスの最大長を越えるようなファイルを指定しないでください。

(2) 装置スリープ機能を利用する場合の注意事項

- (a) 省電力管理ツールから装置スリープ実行時、対象装置にコンフィグレーションモードで操作中にユーザがいる場合、ツールからの操作は正常終了したように見えますが、装置モデルによって以下の違いがあります。

- ・ AX3800S Ver.11.6 以上および AX3650S Ver.11.5 以上の場合：コンフィグレーションモードで操作中のユーザがいる場合、スリープ状態に遷移しません。コンフィグレーションモード終了後、スリープ状態に遷移します。コンフィグレーションモード終了直後、再度コンフィグレーションモードへ変更しても、そのままスリープ状態に遷移します。

- ・ AX2530S/AX2530SE Ver.3.1.A 以上および AX1250S/AX1240S Ver.2.2.D 以上の場合：コンフィグレーションモードで操作中のユーザがいる場合でも、スリープ状態に遷移します。

- (b) 省電力管理ツールから装置スリープ機能を利用する場合、装置上で装置スリープのスケジュール機能を利用しないでください。具体的には `schedule-power-control system-sleep` コマンドを利用しないでください。
- (c) 省電力管理ツールから設定可能な最小期間の装置スリープのスケジュール時間（5 分）以下の場合、設定に失敗することがあります。以下の場合が該当します。
- ・ ツール起動時に前回読み込んでいたスケジュールファイルを読み込み、装置スリープの期間であり、かつ期間終了時刻までが 5 分以下の場合。

- (d) 省電力管理ツールから装置スリープ機能を利用する場合、省電力管理 PC の時刻を変更しないでください。省電力管理 PC の時刻を変更した場合、スケジュールの状態と装置の状態が不一致となります。

(3) 本ツールが利用するディレクトリ

本ツールでは[装置情報取得]操作および省電力設定時に、消費電力/累計電力量を装置から取得します。下記の作業ディレクトリを利用して実施するため、作業ディレクトリの名前の変更、削除およびアクセス権の設定は行わないでください。なお、ツールインストール時は作業ディレクトリが存在しないため、初回操作時にツールが自動的に作成します。

[作業ディレクトリ]

<TARGETDIR>%EnergySavingTool%show_command

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ

デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker's-Utility

(4) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは AX-Networker's-Utility の他のツールと内容が異なるため、共用できません。ツール毎に装置情報ファイルの作成および保存を行うようにしてください。

2. 準備

この章では、省電力管理ツールを実行するために必要な事前準備について説明します。

[2.1 省電力管理ツールのインストール](#)

[2.2 装置の設定を行う](#)

[2.3 省電力管理 PC の設定を行う](#)

2.1 省電力管理ツールのインストール

(1) インストール

AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）を参照し、AX-Networker's-Utility を省電力管理 PC へインストールしてください。

(2) 起動確認

インストールが完了した後、ツールの起動確認を行います。ツールを起動するには、以下の操作を行ってください。

エクスプローラから以下のファイル(※1)を右クリックし、表示されたポップアップメニューから[管理者として実行]を選択する。

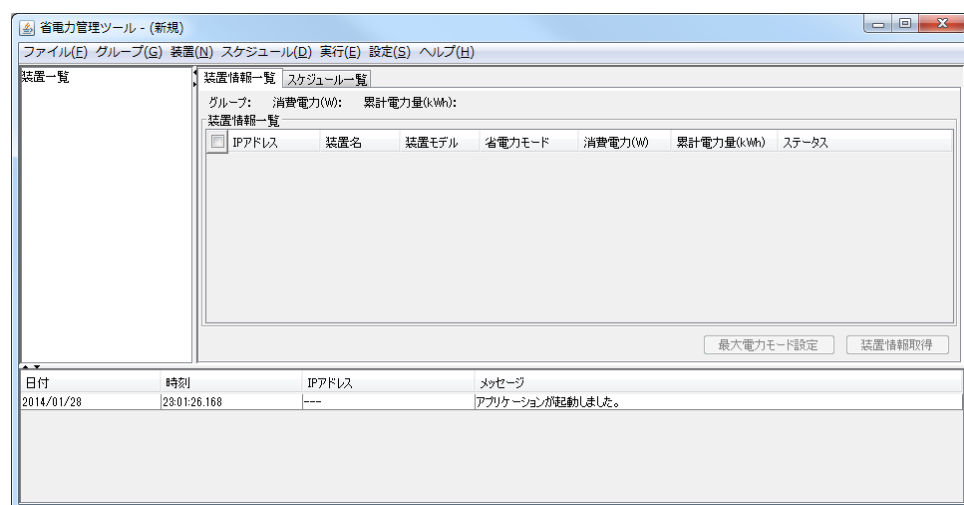
※1…<TARGETDIR>%EnergySavingTool%EnergySavingTool.bat

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker's-Utility

ツールを起動すると、以下の画面が表示されます。

図 2-1 ツール起動時の画面



アプリケーションが起動した旨のログメッセージが表示されることを確認してください。

ツールの起動を確認した後、[ファイル]-[終了]メニューを選択して、一旦ツールを終了してください。

2.2 装置の設定を行う

利用を開始するにあたり、以下の準備、設定を行います。

(1) 省電力管理 PC から対象装置へ、IPv4 ネットワーク的に到達可能とします

省電力管理 PC と対象装置が IP 通信できるように、ネットワーク接続してください。そのためには、対象装置上に IPv4 アドレスを設定します。また、省電力管理 PC と対象装置の間にスイッチやルータ等のネットワーク装置が存在する場合、省電力管理 PC と対象装置の間で通信可能のように、それらのネットワーク装置に対してルーティング設定を行います。

[注意事項]

省電力管理 PC と対象装置の間にスイッチやルータ等のネットワーク装置が存在しない場合は、必ず HUB やスイッチ等の機器を介して省電力管理 PC と対象装置を接続してください。（HUB やスイッチ機器を介さずに省電力管理 PC と対象装置を LAN ケーブルで直結した場合、本ツールからの省電力設定操作が失敗終了します。）

(2) 対象装置のコンフィグレーションを保存またはバックアップします

必要に応じて対象装置上で未保存のコンフィグレーションを保存します。または、対象装置のコンフィグレーションをバックアップします。

(3) 対象装置で省電力機能が利用できるように、netconf 機能を有効にします

続いて、装置が省電力管理ツールから要求を受け付けられるよう、装置側の設定を行います。装置を起動し、装置にログイン後、装置の CLI から次のコマンドを入力します。netconf 機能に関するコマンドの詳細については

AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）の「5. 付録」をご確認ください。

```
>enable
```

```
# configure
```

```
!(config)# netconf
!(config-netconf)# top
!(config)# save
(config)# exit
```

(4) 対象装置で消費電力が取得できるように、telnet セッションを確保できるようにします

省電力管理ツールは対象装置から消費電力を取得するために telnet セッションを 1 つ利用します。そのため、省電力管理ツール用に telnet セッションを 1 つ確保してください。また telnet にて装置にログインするユーザおよびパスワードについては、「[4.2 設定項目一覧 表 4-1 省電力管理ツールの設定項目一覧](#)」を参照し登録してください。

[注意事項]

本ツールのスケジュール機能を利用して装置の省電力設定を行う場合は、装置のスケジューリングを使用した省電力機能は利用しないようにしてください。

また逆に、装置のスケジューリングを使用した省電力機能を利用する場合は、本ツールのスケジュール機能を利用しないようにしてください。

(5) 対象装置で装置スリープ機能用のユーザを登録します

装置が AX3800S/AX3650S/AX2500S/AX1250S/AX1240S の場合、装置スリープ機能を実行できるように、装置に装置スリープ機能用のユーザを登録します。装置にログイン後、次のコマンドを入力します。また装置スリープ機能用のユーザおよびパスワードについては、「[4.2 設定項目一覧 表 4-1 省電力管理ツールの設定項目一覧](#)」を参照し登録してください。装置スリープ機能用のユーザ登録のコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）の「5. 付録」をご確認ください。

```
>enable                …装置管理者モードに移行します

# set on-api energy-saving user user001  …登録するユーザの名前※2 を入力し
ます

                                (ここでは user001 です)

New password : xxxxxxxx      …パスワード※3 を入力します

Retype new password : xxxxxxxx  …確認のためパスワードを再入力します

# commit on-api energy-saving user  …登録したユーザを保存します
```

Commit on-api energy-saving user data. Are you sure? (y/n):y

…y を入力します

#

※2…ユーザ名は 6～16 文字の半角英数字で指定してください。

※3…パスワードは 6～16 文字の半角英数字で指定してください。

2.3 省電力管理 PC の設定を行う

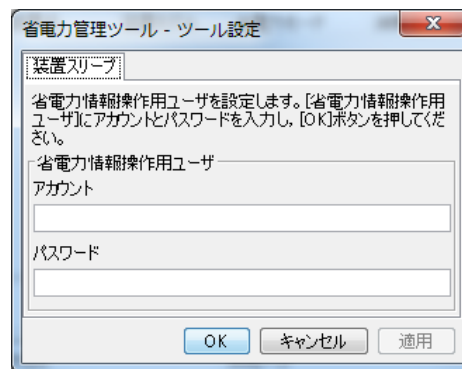
省電力管理ツールから装置スリープ機能，電力表示を利用するにあたり，以下の準備，設定を行います。

(1) 装置に設定した装置スリープ機能用のユーザをツールへ設定する

「[2.2 装置の設定を行う \(5\)装置スリープ機能用ユーザを登録します](#)」で指定したアカウント（ユーザ名）とパスワードを設定します。

省電力管理ツールを起動し，[設定]-[設定...]メニューを選択します。

図 2-2 ツール設定画面



アカウント，およびパスワードを6文字以上16文字以内の半角英数字で指定し，[OK] ボタンを押下してください。

(2) 装置のログインユーザ名，パスワード，管理者モードパスワードをツールへ設定する

装置から電力情報（消費電力および累計電力量）を取得するために，装置のログインユーザ名，パスワード，管理者モードのパスワードをツールの設定ファイルに設定します。

省電力管理ツールを停止し，設定ファイル `EnergySavingTool.properties` をエディタなどで開きます。以下のプロパティを設定してください。

energysaving.wattage.login.username…装置のログインユーザ名

energysaving.wattage.login.password…上記ログインユーザ名に対応するパスワード

energysaving.wattage.adminpassword…装置の管理者モードのパスワード（装置に設定されている場合のみ）

これらのプロパティが設定ファイルに無い場合、追加してください。

これらの設定の詳細については、「[4.2 設定項目一覧](#)」を参照してください。

3. 省電力設定

この章では、省電力管理ツールの操作方法について説明します。

[3.1 装置を登録する](#)

[3.2 装置の省電力設定を行う](#)

3.1 装置を登録する

省電力管理ツールから装置に対して省電力設定を行うには、まず始めに、ツール上で装置の登録を行います。装置の登録方法には、以下の2通りの方法があります。

方法1：GUIから登録する（「[3.1.1 GUIから登録する](#)」参照）

方法2：装置情報ファイルから登録する（「[3.1.2 装置情報ファイルから登録する](#)」参照）

省電力管理ツールを起動すると、ツール終了前に正常に読み込んだか保存を行った装置情報ファイルを自動的に読み込み、装置ツリー上に表示します。

なお、GUIからの操作はメニュー、メニューに設定されているキーボードショートカット(Ctrl+キー)、ボタンのいずれか任意の方法で行えます。

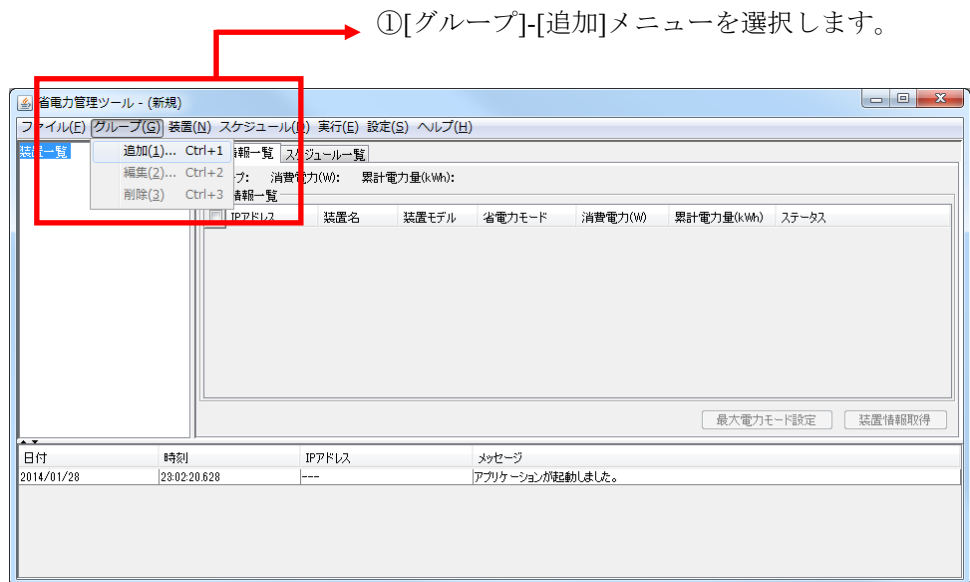
3.1.1 GUIから登録する

(1) グループを登録する

まず始めに、ツールを起動しグループの登録を行います。ツールの起動方法については、「[2.1 省電力管理ツールのインストール \(2\)起動確認](#)」を参照してください。

グループを登録するには、装置一覧ツリー上で[装置一覧]ノードを選択して、[グループ]-[追加]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。

図 3-1 グループ登録（１）



[グループ情報設定]画面を開いたら、グループ名（１～３２文字）を入力し、[OK] ボタンを押下します。

[注意事項]

グループ名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されないことがあります。

図 3-2 グループ登録（２）

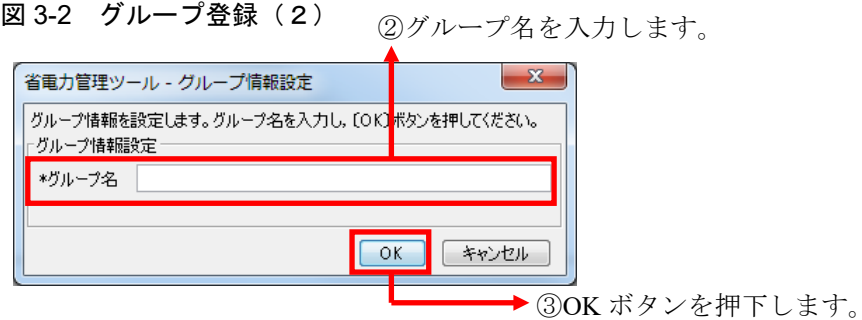
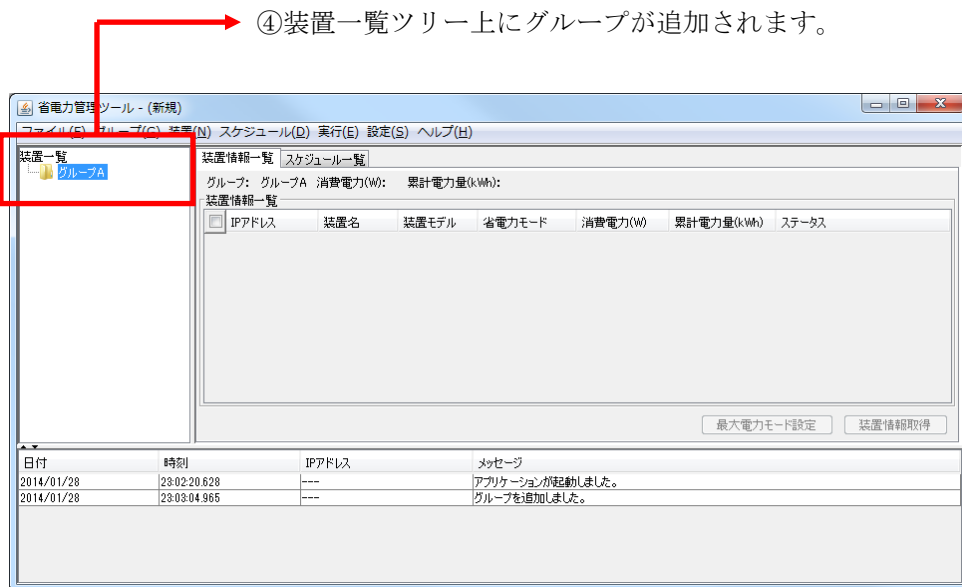


図 3-3 グループ登録（3）



(2) グループ名を変更する／登録したグループを削除する

グループ名の変更を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[グループ]-[編集]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。

[グループ情報設定]画面を開いたら、グループ名（1～32 文字）を入力し、[OK] ボタンを押下します。

グループの削除を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[グループ]-[削除]メニューを選択します。

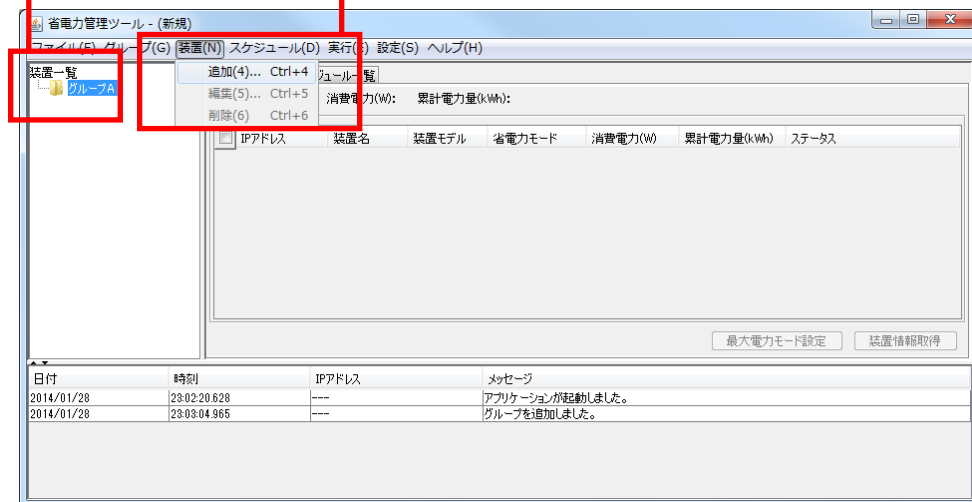
(3) 装置を登録する

グループを登録した後、グループに装置を登録します。

装置を登録するには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[装置]-[追加]メニューを選択し、[装置情報設定]画面を開きます。

図 3-4 装置登録（１）

- ①グループを選択します。 ②[装置]-[追加]メニューを選択します。



[装置情報設定]画面を開いたら、IP アドレス（10 進ドット記法の IPv4 アドレス）、装置名（0～64 文字）を入力して、[OK]ボタンを押下します。なお、装置名は入力を省略することができます。

[注意事項]

装置名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されないことがあります。

図 3-5 装置登録（２）

- ③IP アドレス，装置名を入力します。
※装置名は入力を省略することができます。

- ④OK ボタンを押下します。

図 3-6 装置登録（３）

- ⑤装置一覧ツリーに装置が追加されます。

(4) 装置情報を変更する／登録した装置を削除する

装置情報の変更を行うには、装置一覧ツリー上で装置を選択して、[装置]-[編集]メニューを選択し、[装置情報設定]画面を開きます。[装置情報設定]画面を開いたら、必要な情報を入力し、[OK]ボタンを押下します。

装置の削除を行うには、装置一覧ツリー上で装置を選択して、[装置]-[削除]メニューを選択します。

3.1.2 装置情報ファイルから登録する

グループや装置は、グループや装置の情報を定義した装置情報ファイルを、省電力管理ツールから読み込んで登録することもできます。

(1) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは、[ファイル]-[名前を付けて保存]、または、[ファイル]-[上書き保存]メニューを実行した際に保存される、ツール上のグループ、および、装置の情報を記録したファイルです。ツールから保存した装置情報ファイルは、[ファイル]-[開く]メニューから、再びツール上に読み込むことができます。

装置情報ファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。従って、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成することもできます。装置情報ファイルの例と、装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージを次図および次表に示します。

[注意事項]

装置情報ファイル／[スケジュール情報ファイル](#)をスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は、各フィールドの値（例：グループ名や装置名）に「"」（ダブルクォート）や「,」（カンマ）を使用しないでください。

グループ名や装置名等に「"」（ダブルクォート）や「,」（カンマ）を使用すると、ツールからファイルを読み込んだ際に、グループ名や装置名等が正しく表示されない、または、ファイルの読み込みに失敗する場合があります。

各フィールドの値に HTML タグやタブ文字を使用しないでください。

HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されないことがあります。

図 3-7 装置情報ファイルの例

グループ名,チェックボックスのチェック状態,IP アドレス,装置名, 装置モデル,省電力モード,電力制御設定,NIF ボード情報, NIF ポートの LED 動作,スイッチングユニット設定, スイッチングユニットの枚数設定, 待機系スイッチングユニットの給電設定	1 行目 (ヘッダ)
グループ A,true,192.168.0.1,装置 1,,,,,,,,	
グループ A,true,192.168.0.2,装置 2,,,,,,,,	
グループ A,true,192.168.0.3,,,,,,,,	
グループ A,true,192.168.0.4,装置 4,,,,,,,,	
グループ B,false,192.168.1.1,装置 1,,,,,,,,	
グループ B,false,192.168.1.2,装置 2,,,,,,,,	
グループ C,,,,,,,,	
グループ D,false,192.168.3.1,装置 3,,,,,,,,	

- ・装置情報ファイル作成する場合、1 行目にはヘッダ情報を記述し、2 行目以降に各装置の装置情報を記述します。※1※3
- ・グループ名は 1～32 文字で設定可能です。
- ・チェックボックスのチェック状態は **true** または **false** で設定可能です。
- ・IP アドレスは 10 進ドット記法の IPv4 アドレスで設定可能です。
- ・装置名は 0～64 文字で設定可能です。
- ・装置モデル以降の項目はツールからの[装置情報取得]操作により取得可能なため、装置情報ファイルを作成し省電力管理ツールから読み込んで登録する際これらの項目の指定は不要です。
- ・4 行目のスケジュール情報には、装置名の指定がありませんが、このように、装置名は指定を省略することができます。同様に、装置モデル以降の項目も指定を省略することができます。（その他の項目は指定が必須であり、省略することはできません）。

- ・また、8 行目はグループ名のみ指定されていますが、このような装置情報は、「装置情報のエントリがないグループ」という特別な意味を持ちます。※2
- ・各列の指定値が不正(範囲外)な場合、装置情報ファイル読み込み時にエラーとなります。

※1 1 行目（ヘッダ情報）は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。（上図の例と同様の記述にする必要はありません。）

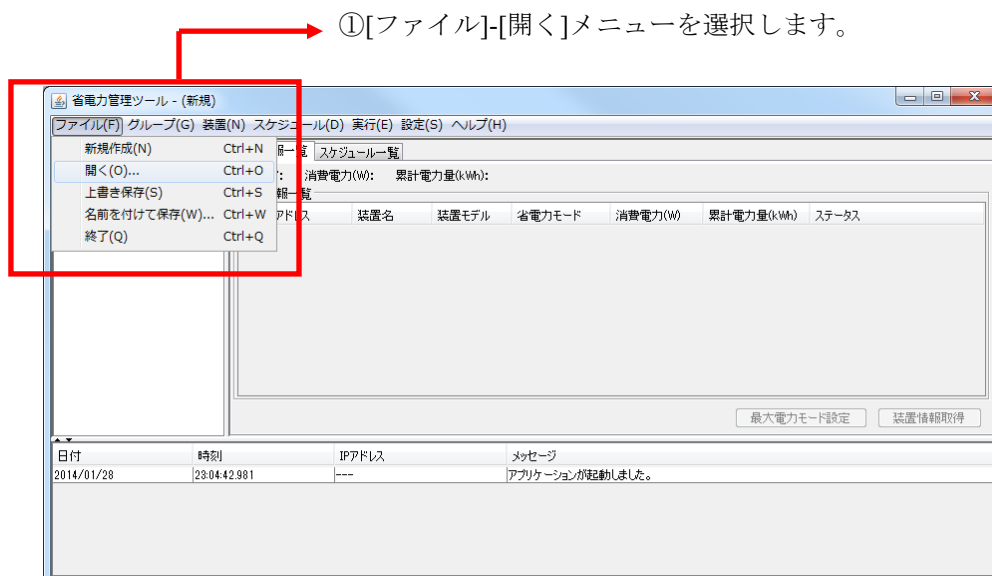
※2 グループ名のみ指定した装置情報を、同一のグループ名で複数件登録した場合、2 件目以降は無視されます。

※3 装置情報ファイルには空行（改行だけの行）を記述できません。記述した場合にはエラーになります。

(2) 作成した装置情報ファイルを読み込む

作成したファイルをツールに読み込むには、[ファイル]-[開く]メニューを選択し、ファイル選択画面を開きます。

図 3-8 装置情報ファイルの読み込み（1）



ファイル選択画面を開いたら、作成した装置情報ファイルを選択し、[開く]ボタンを押下します。

図 3-9 装置情報ファイルの読み込み（2）

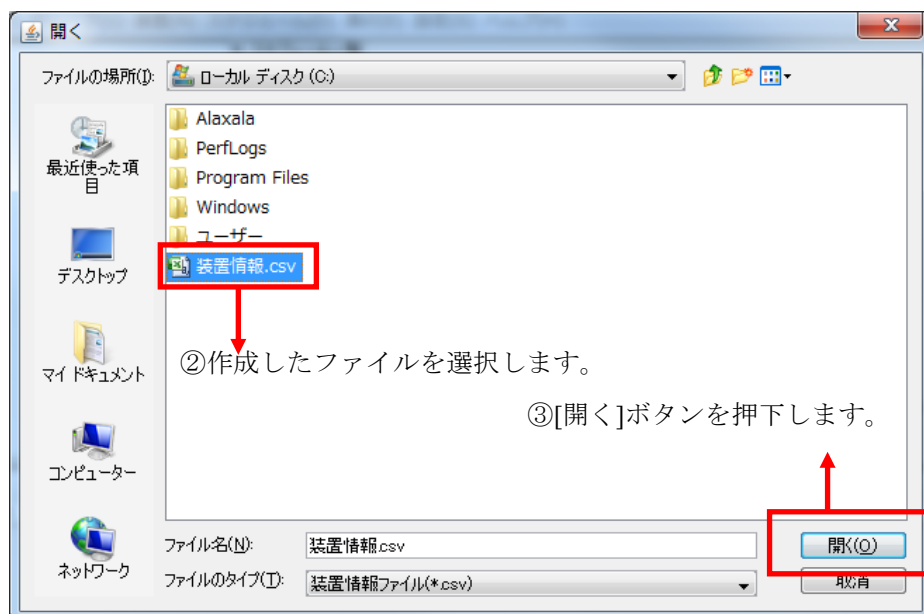
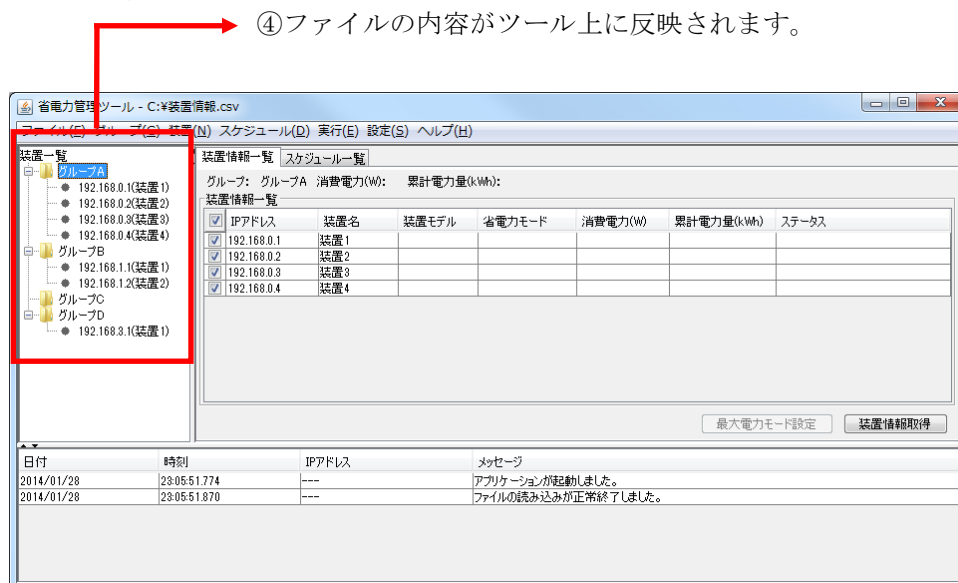


図 3-10 装置情報ファイルの読み込み（3）



[注意事項]

スケジュール情報ファイルに関して：

省電力管理ツールから，[ファイル]-[名前を付けて保存]，または，[ファイル]-[上書き保存]メニューを実行すると，装置情報ファイルと併せて[スケジュール情報ファイル](#)（ファイル名が，「[装置情報ファイル名の拡張子(.csv)を除いた部

分]_schedule.csv」のファイル※1) も生成されます。また、[ファイル]-[開く]メニューから、装置情報ファイルの読み込みを行う際に、同ファイル格納ディレクトリ内に、装置情報ファイルと同名のスケジュール情報ファイルが存在すると、省電力管理ツールは、併せてスケジュール情報ファイルの読み込みも行います。従って、用意した装置情報ファイルの読み込みを行う際には、同ファイル格納ディレクトリに、同名のスケジュール情報ファイルが存在していないことを確認するか、存在する場合は、用意した装置情報ファイルと整合性がとれており、併せて読み込み可能なスケジュール情報ファイルであることを確認してください。（詳しくは、「[3.2.4 スケジュール情報ファイルからスケジュールを登録する](#)」を参照してください。）

※1 装置情報ファイル名が `node.csv` の場合、スケジュール情報ファイルとして生成されるファイルは `node_schedule.csv` になります。

装置情報ファイル、スケジュール情報ファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合の注意事項：

装置情報ファイル/スケジュール情報ファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は、グループ名や装置名等に「"」（ダブルクォート）や「,」（カンマ）を含めないようにしてください。

3.2 装置の省電力設定を行う

この節では、装置の省電力設定を行う方法について説明します。省電力設定には、即時で行う方法と、スケジュールを設定し、予約実行する方法とがあります。

下記にツールがサポートする設定を示します。

表 3-1 サポートする設定内容

装置モデル		AX3800S/ AX6700S/ AX6600S/ AX6300S	AX3650S/ AX2500S/ AX1250S/ AX1240S
省電力モード			
最大電力モード	即時実行	○	×
	スケジュール実行	○	×
節電モード	即時実行	○	×
	スケジュール実行	○	×
最小電力モード	即時実行	○	×
	スケジュール実行	○	×
カスタムモード	即時実行	○	×
	スケジュール実行	○	×
装置スリープ	即時実行	×	×
	スケジュール実行	×	○

【凡例】 ○：サポート, ×：未サポート

各省電力モードの内容については、「[1.1.2 画面構成](#)」を参照してください。

3.2.1 即時実行で省電力設定を行う

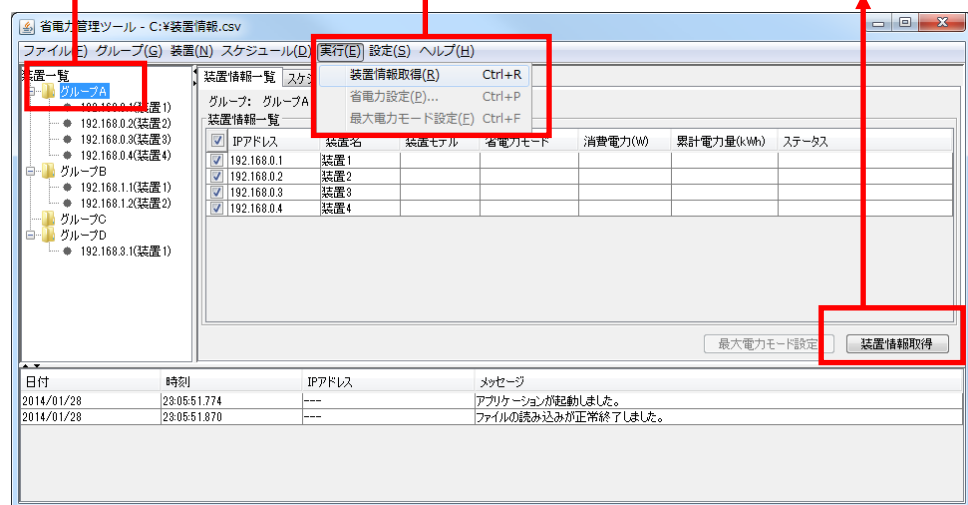
省電力設定の実施単位はグループまたは装置です。まず初めに、グループに対して省電力設定を即時実行する方法について説明します。

省電力設定を行うには、装置情報の取得を行っておく必要があります（一度装置情報を取得すれば次回から装置情報取得の手順は省略できます）。装置情報の取得を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択してツールのメイン画面にある「装置情報取得」ボタンを押下します。もしくは、[実行]-[装置情報取得]メニューを選択するか、装置一覧ツリー上のグループをマウスで右クリックして、表示されたポップアップメニューから[装置情報取得]を選択します。

図 3-11 即時実行（１）

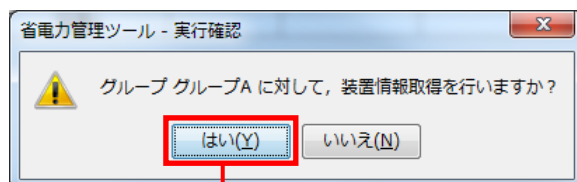
①グループを選択します。

②[実行]-[装置情報取得]メニューまたは「装置情報取得」ボタンを押下します。



[実行確認]画面を開いたら、〔はい〕 ボタンを押下します。

図 3-12 即時実行（２）

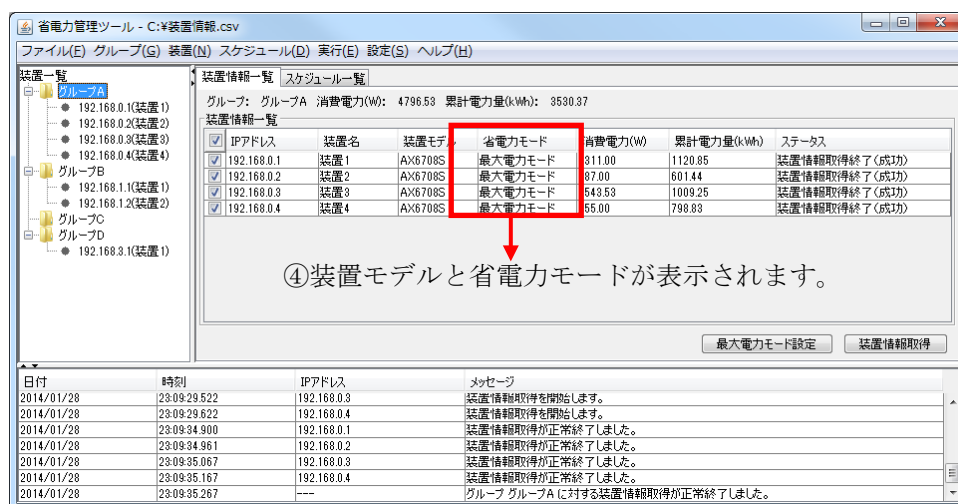


③ 〔はい〕 ボタンを押下します。

装置モデルが表示され、装置の省電力設定状況が省電力モードとして表示されます。装置に省電力設定がされていない場合には、省電力モードに「最大電力モード」が表示されます。

また、装置情報取得が行われると、[実行]-[省電力設定操作]、および[実行]-[最大電力設定]メニューが有効になり操作が実施可能になります。

図 3-13 即時実行（３）



続けて省電力設定を実行するには、装置情報取得を実施したグループが装置一覧ツリー上で選択されている状態のまま、[実行]-[省電力設定]メニューを選択するか、装置一覧ツリー上のグループをマウスで右クリックして、表示されたポップアップメニューから[省電力設定]を選択します。

図 3-14 即時実行（４）

⑤グループを選択します。



[省電力設定]画面を開いたら、省電力モードを選択し〔OK〕ボタンを押下します。

なお、グループを選択して省電力設定を行う場合は、カスタムモードは選択することができません。カスタム設定を行いたい場合は、グループではなく装置を選択して操作を行ってください。

[注意事項]

- ・[省電力設定]画面で省電力モードを選択し〔OK〕ボタンを押下すると、装置へ省電力設定を行います。その際、以下のモデルの装置ではスイッチングユニットが再起動され、一時的に通信が停止します。

装置モデル：AX6700S, AX6600S シリーズ

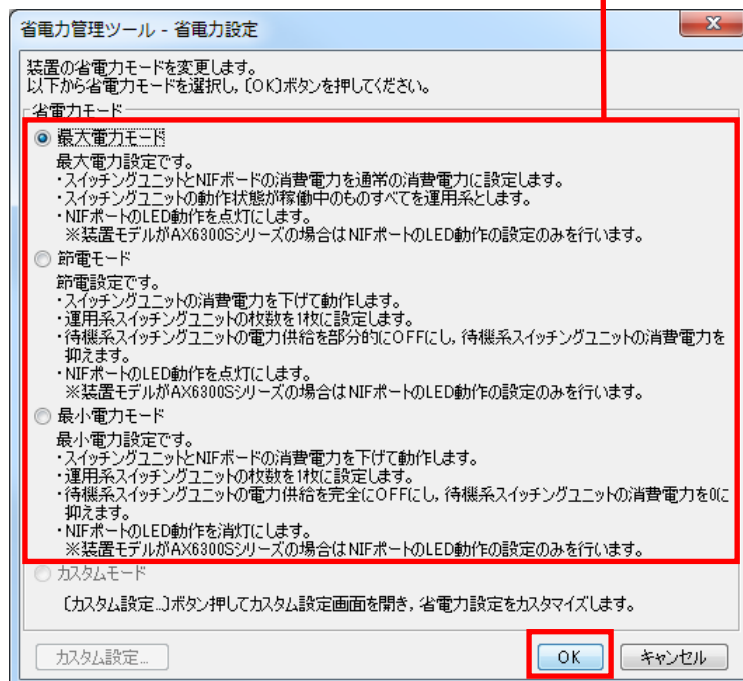
- ・即時実行による省電力設定では、装置スリープは実行できません。装置スリープを実行する場合は、スケジュールにより実行してください。

装置モデル：AX3800S, AX3650S, AX2500S, AX1250S, AX1240S シリーズ

- ・[省電力設定]画面で省電力モードを設定した後、装置情報一覧で表示される省電力モードが[省電力設定]画面で指定した省電力モードと異なる場合があります（AX6300S シリーズの装置に対して省電力設定を行った場合）。最大

電力モードと節電モードの内容が同じため、そのような表示になります。

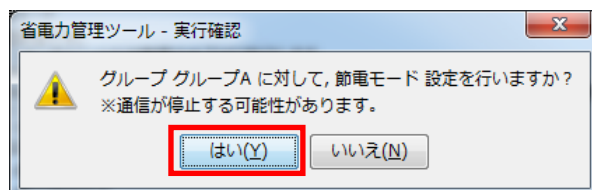
図 3-15 即時実行 (5) ⑦省電力モードを選択します。(この例ではグループを選択。)



⑧[OK]ボタンを押下します。

[実行確認]画面が開いたら、[はい] ボタンを押下します。

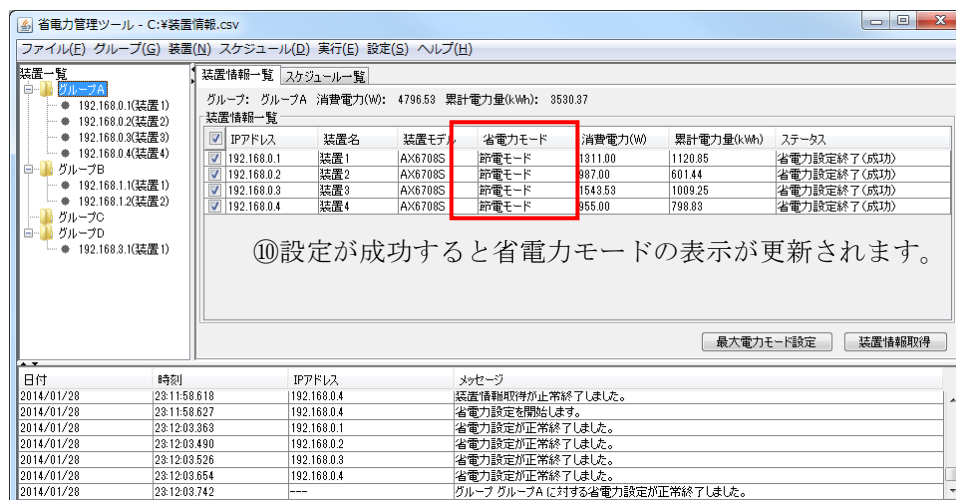
図 3-16 即時実行 (6)



⑨[OK]ボタンを押下します。

装置に対して省電力設定が行われ、装置情報テーブルの省電力モードの表示が更新されます。

図 3-17 即時実行（７）

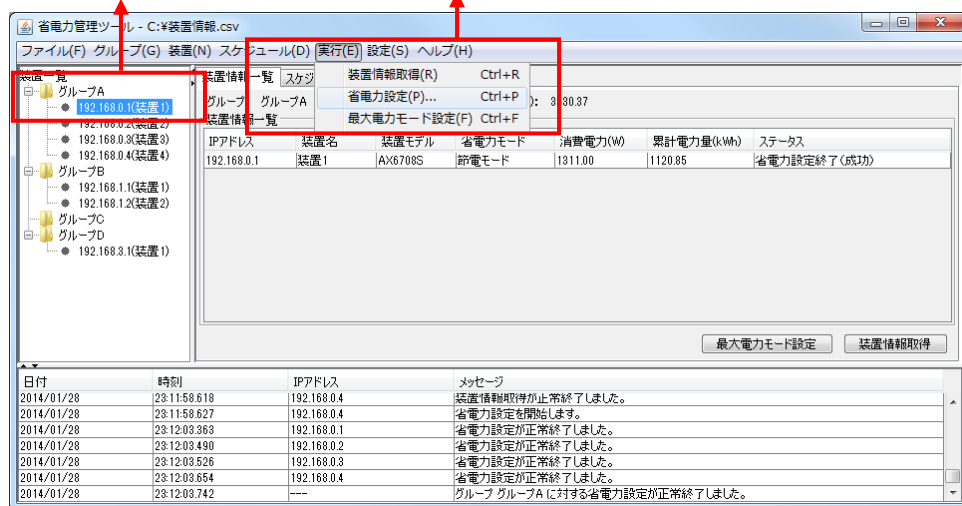


次に、グループではなく装置ごとに省電力設定を行う方法を説明します。なお、先に説明した通り省電力設定を行うには装置情報取得を行っておく必要がありますが、ここでは装置情報取得は実施済みであるとします。

装置に対して省電力設定を行うには、装置一覧ツリー上で装置を選択して [実行]-[省電力設定]メニューを選択するか、装置一覧ツリー上の装置をマウスで右クリックして、表示されたポップアップメニューから[省電力設定]を選択します。

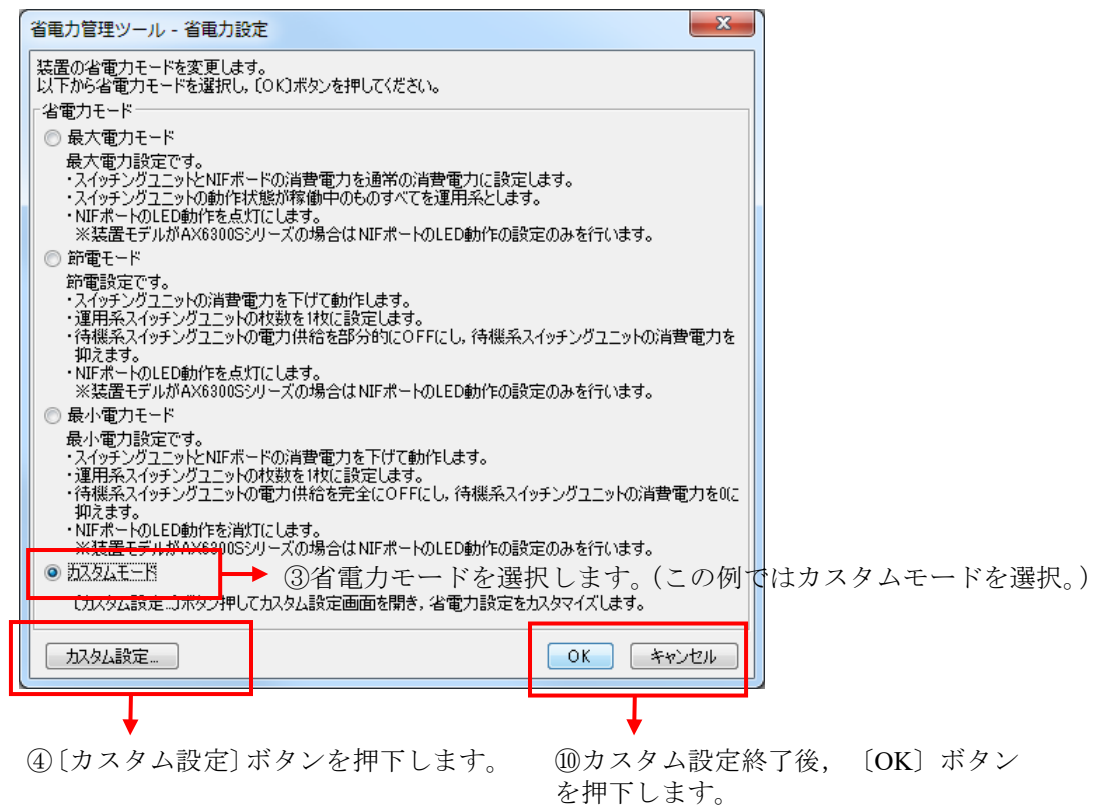
図 3-18 即時実行（８）

- ①装置を選択します。 ②[実行]-[省電力設定]メニューを選択します。



[省電力設定]画面を開いたら、省電力モードを選択し〔OK〕ボタンを押下します。装置に対する省電力設定の場合はカスタムモードを選択することができます。ここではカスタムモードを選択する例を説明します。

図 3-19 即時実行（9）



[カスタム設定]画面を開いたら、[全般]タブで電力制御を選択し、[NIF ボード]タブで電力供給設定およびNIF ボードのLED 動作の設定を行い、[スイッチングユニット]タブで電力供給設定およびスイッチングユニットの枚数設定、待機系スイッチングユニットの給電設定を行い、[OK] ボタンを押下します。

表 3-2 [カスタム設定]画面の表示内容

大項目	項目	表示内容
[全般]タブ	電力制御設定	装置の電力制御に関する設定を行います。BSU/PSP または BSU/PSP および NIF ボードの電力を制御することで、パケット転送で消費する電力を削減できます。 ・通常モード…通常の消費電力で動作します ・スイッチングユニットの消費電力を下げる… BSU/PSP の消費電力を下げて動作します。その結果、パケット転送性能も下がります。 ・スイッチングユニット、NIF の消費電力を下げる… BSU/PSP および NIF ボードの消費電力を下げて動作します。その結果、パケット転送性能も下がります。 装置が AX6700S シリーズ、AX6600S シリーズの場合のみ指定可能です。
[NIF ボード]タブ	NIF ボード設定	NIF ボードへの電力供給を設定します。 NIF ボードは実装状態に関係無く、指定対象装置の最大数の NIF ボードが表示されます。そのため、実装されている NIF ボードに対する電力供給を OFF にした場合のみ消費電力が下がります。 [NIF ボード] ・ NIF#[NIF 番号]…電力供給設定対象の NIF [電力供給設定] ・ ON…電力を供給します ・ OFF…電力を供給しないことで、消費電力を下げます [稼動状態] ・ 運用中…正常動作しています ・ 初期化中…初期化しています ・ 運用停止…運用を停止しています ・ 未実装…実装されていません ・ 障害中…障害が発生しています ・ 非アクティブ…起動していません
	NIF ポートの LED 動作設定	NIF ポートの LED の点灯または消灯を設定します。 ・ 点灯…LED を点灯します ・ 消灯…LED を消灯し、消費電力を下げます
[スイッチングユニット]タブ	スイッチングユニット設定	スイッチングユニットへの電力供給を設定します。 スイッチングユニットは実装状態に関係無く、指定対象装置の最大数のスイッチングユニットが表示されます。そのため、実装されているスイッチングユニットに対する電力供給を OFF にした場合のみ消費電力が下がります。

		[スイッチングユニット] ・BSU#[BSU 番号]…電力供給設定対象のスイッチングユニット [電力供給設定] ・ON…電力を供給します ・OFF…電力を供給しないことで、消費電力を下げます 装置が AX6700S シリーズの場合のみ指定可能です。 [稼動状態] ・運用系…運用系として動作しています ・待機系…待機系として動作しています ・初期化中…初期化しています ・運用停止…運用を停止しています ・未実装…実装されていません ・障害中…障害が発生しています ・非アクティブ…起動していません
	スイッチングユニットの枚数設定	スイッチングユニットの稼動数を設定します。 ・1…スイッチングユニットが 1 枚稼動します ・2…スイッチングユニットが 2 枚稼動します ・3…スイッチングユニットが 3 枚稼動します 装置が AX6700S シリーズ,AX6600S シリーズの場合のみ指定可能です。
	待機系スイッチングユニットの給電設定	待機系スイッチングユニットの給電モードを設定します。 ・給電する…待機系スイッチングユニットへの給電を行います ・部分的に給電する…待機系スイッチングユニットへの給電を部分的に行います(表示のみ可能) ・給電しない…待機系スイッチングユニットへの給電を行わないため,消費電力が下がります 装置が AX6700S シリーズの場合は BSU,AX6600S シリーズの場合は PSP の給電設定を行います。

なお、電力制御設定の変更は、一時的に対象装置を経由する通信の停止を伴う場合があります。通信の停止を伴うかどうかは、変更前/変更後の電力制御設定、装置に実装されているスイッチングユニットの数、変更契機（「設定・変更」固定）によります。詳細については、装置マニュアルの省電力機能の章を参照してください。本ツールでの指定値と装置マニュアルの記述の対応関係は以下の通りです。

表 3-3 電力制御設定の対応関係

電力制御設定の指定値	対応する装置マニュアルの記載
通常モード	power-control mode normal または power-control コマンド未投入
スイッチングユニットの消費電力を下げる	power-control mode mode2
スイッチングユニット, NIF の消費電力を下げる	power-control mode mode1

図 3-20 即時実行 (1 0)

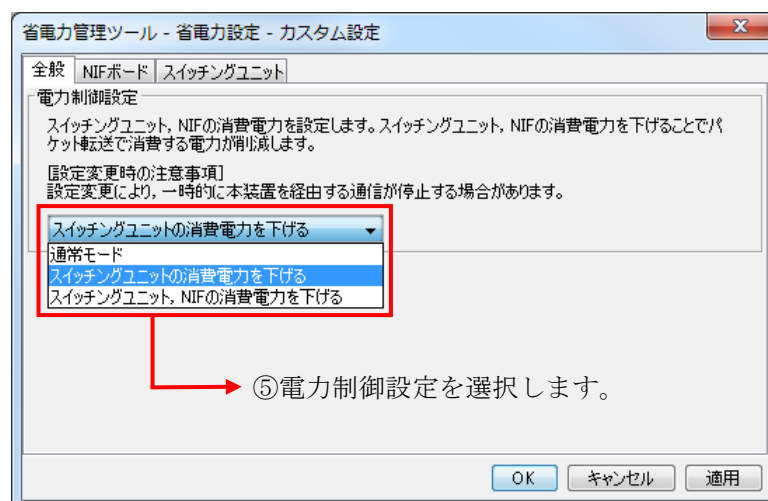
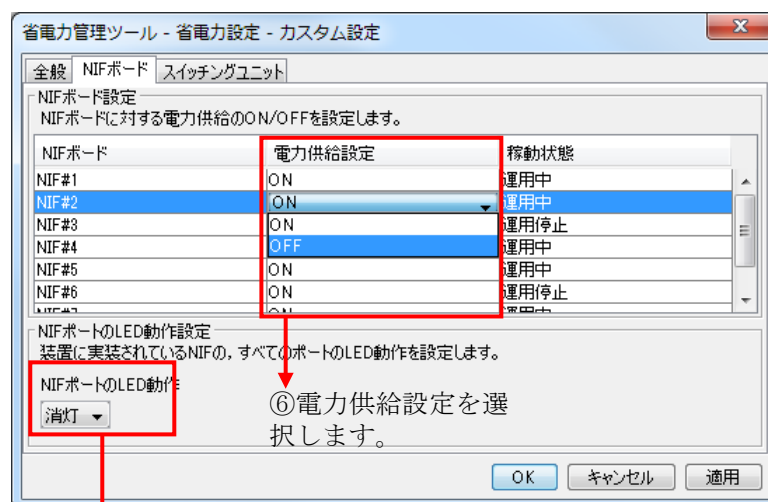
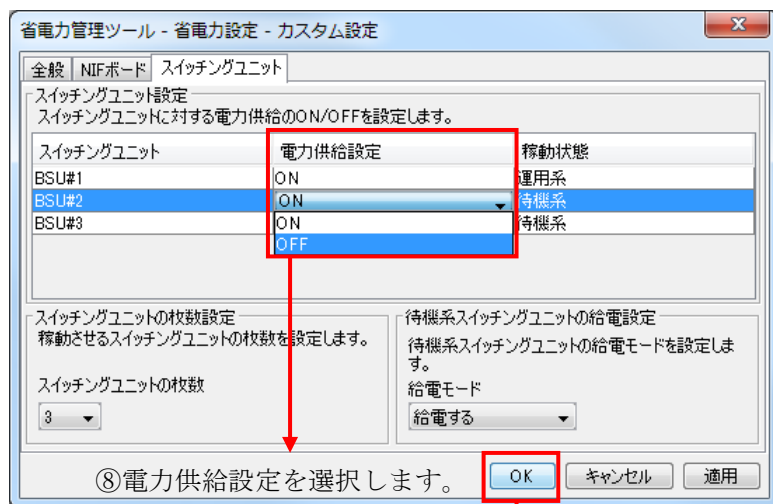


図 3-21 即時実行 (1 1)



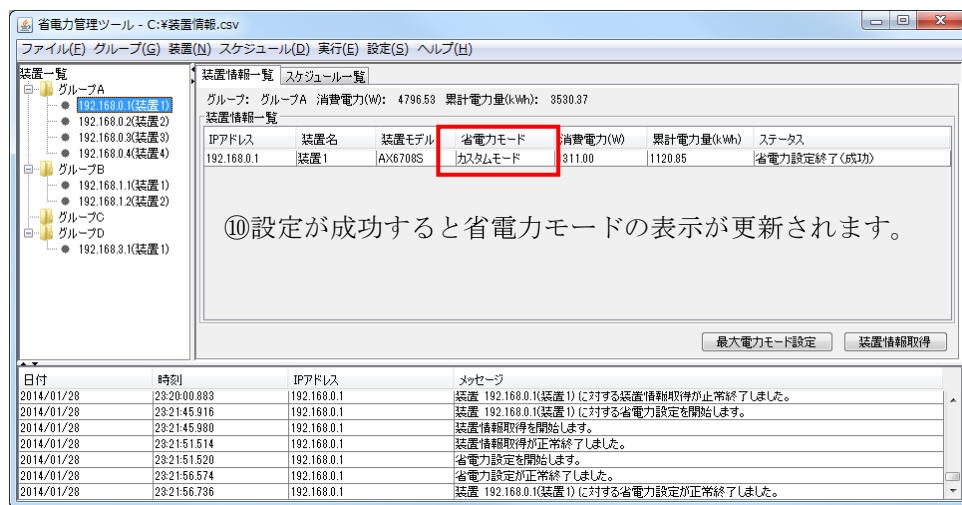
⑦NIF ポートの LED 動作を選択します。

図 3-22 即時実行（１２）



⑨OK ボタンを押下します。

図 3-23 即時実行（１３）



3.2.2 予約実行で省電力設定を行う

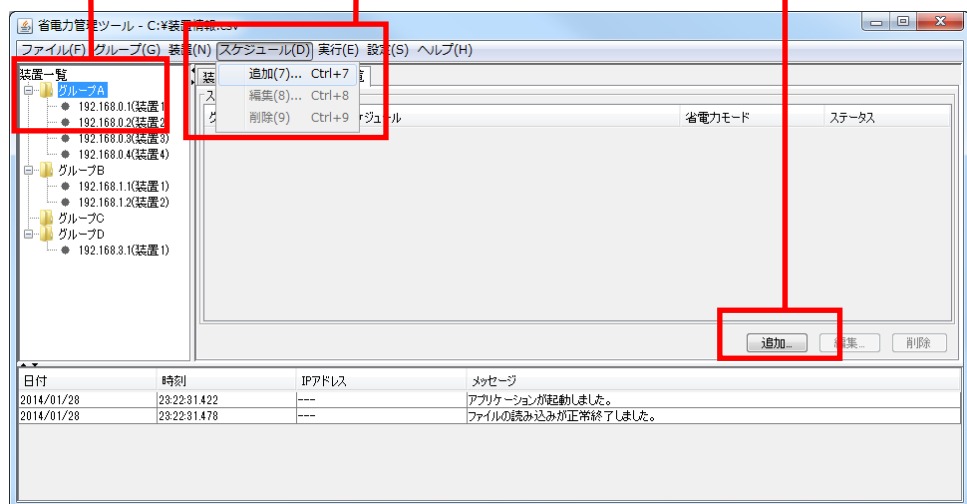
スケジュールの登録を行うことで、時間帯を指定して省電力設定を行うことができます。時間帯の指定方法には次の3通りがあります。

- ・ 毎日の時間帯を指定して省電力にする
- ・ 曜日と時刻で時間帯を指定して省電力にする
- ・ 年月日と時刻で時間帯を指定して省電力にする

スケジュール情報は1つのグループに対して複数設定可能です。スケジュールの登録を行うには、装置一覧ツリー上でスケジュールを登録するグループを選択して、[スケジュール]-[追加]メニューを選択するか、[スケジュール一覧]の下にある[追加]ボタンを押下して、[スケジュール設定]画面を開きます。

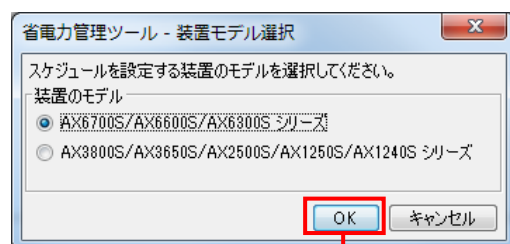
図 3-24 予約実行（1）

- ①グループを選択します。 ②[スケジュール]-[追加]メニューまたは[追加]ボタンを押下します。



[装置モデル選択]画面を開いたら、対象装置のモデルを選択し、[OK]ボタンを押下します。

図 3-25 予約実行（2）



③OK ボタンを押下します。

[スケジュール情報設定]画面を開いたら、[スケジュール設定を有効にする]チェックボックスにチェックを入れ、[毎日]、[毎週]、[指定日時]の3種類のスケジュールのいずれかを選択します。また、[適用する省電力設定]ボタンを押下し、開いた省電力設定画面で適用する省電力モードを選択します。

※スケジュールによる省電力設定にて、省電力モードに「カスタムモード」を選択する場合、グループ内の装置数は必ず1台にしてください。省電力設定時にグループ内の装置数が0台または2台以上ある場合、スケジュールによる省電力設定は実施されません。

※[装置モデル選択]画面で AX3800S/AX3650S/AX2500S/AX1250S/AX1240S シリーズを選択した場合、省電力設定は装置スリープのみ実施可能です。

- ・ 毎日のスケジュール

省電力設定を行いたい、開始と終了の時刻を指定します。

- ・ 毎週のスケジュール

省電力設定を行いたい、開始と終了の曜日および時刻を指定します。

- ・ 指定日時のスケジュール

省電力設定を行いたい、開始と終了の年月日および時刻を指定します。

図 3-26 予約実行（3）

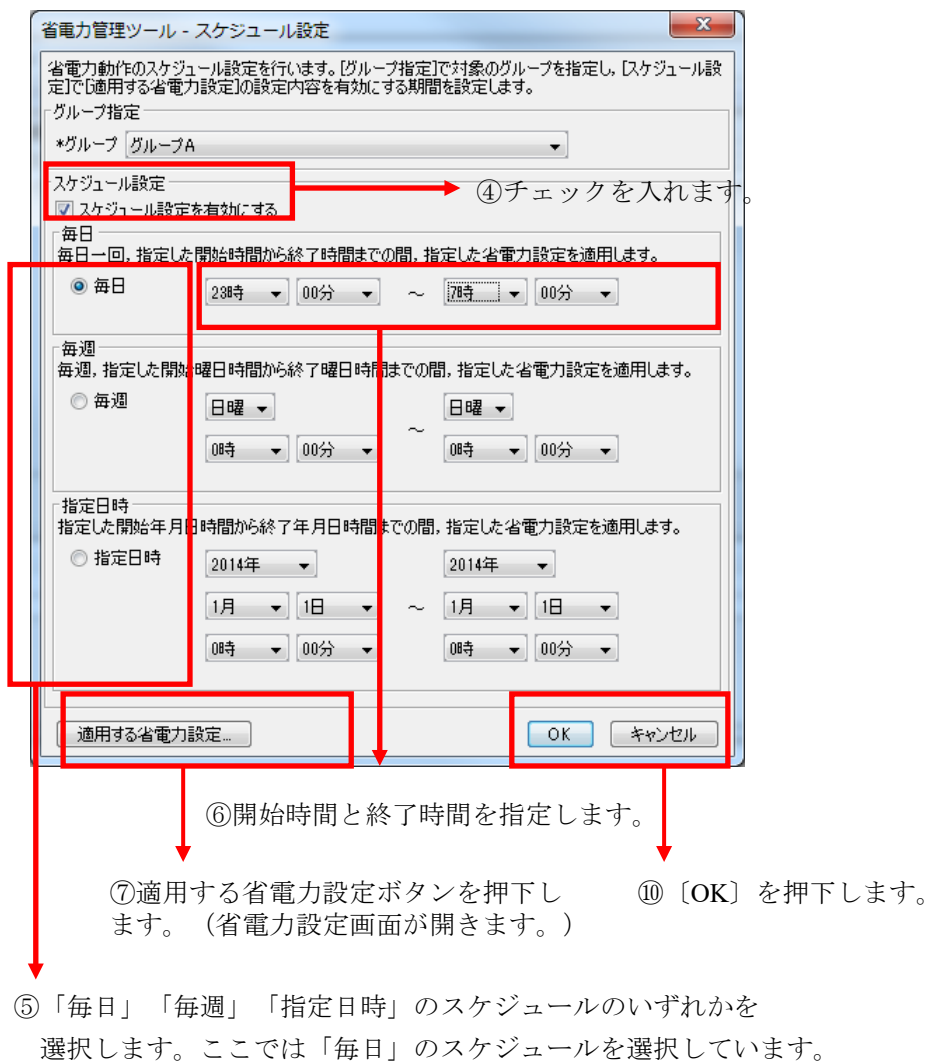
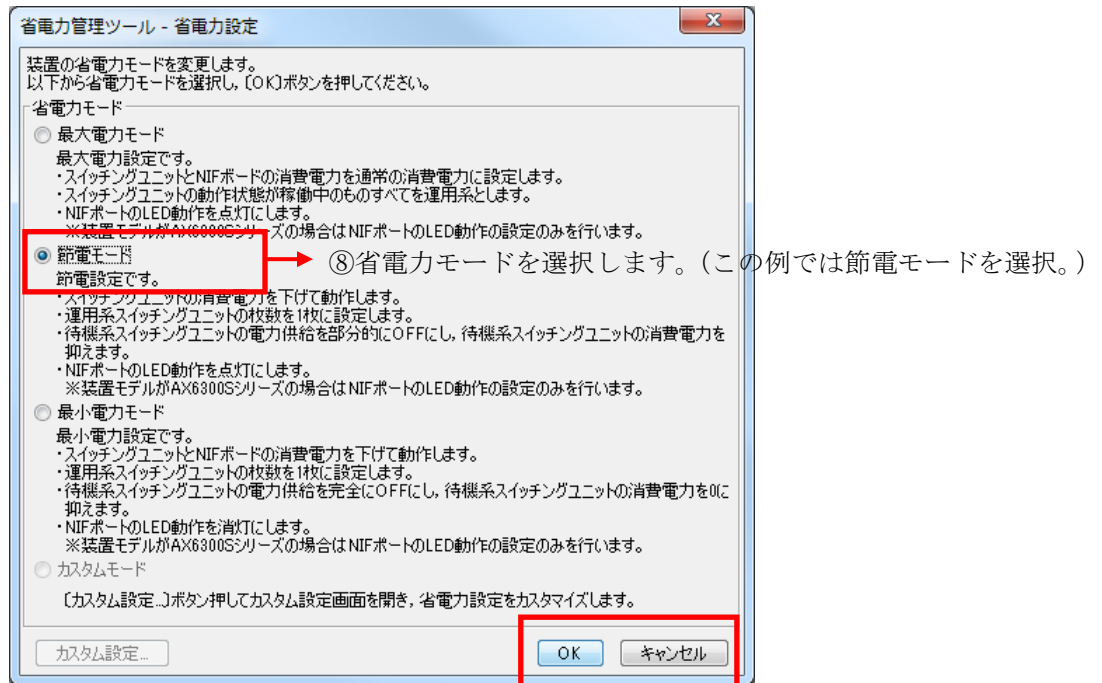


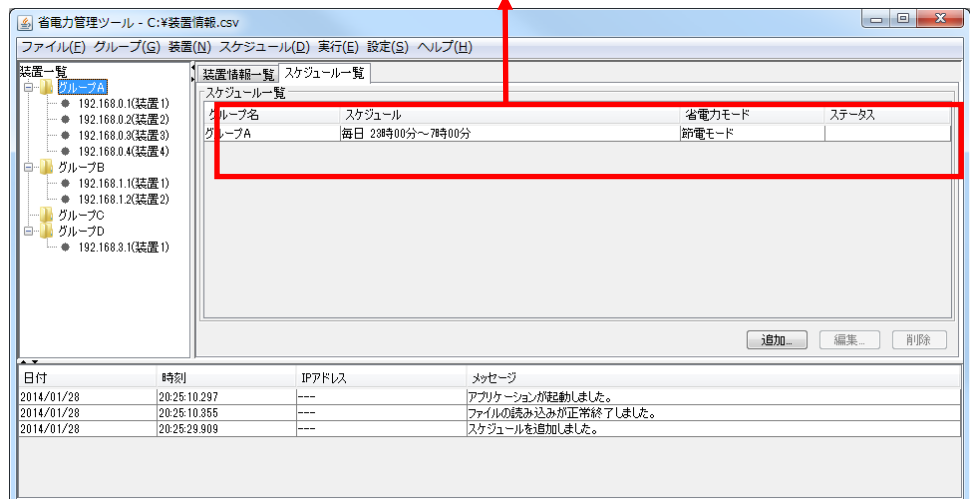
図 3-27 予約実行（４）



⑨ [OK] ボタンを押下します。(スケジュール設定画面に戻ります。)

図 3-28 予約実行（５）

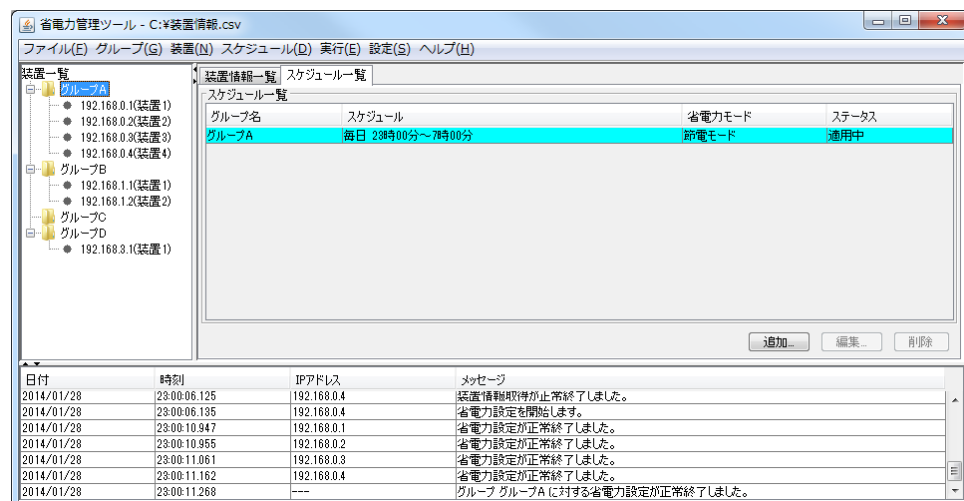
⑪ スケジュール一覧にスケジュールが追加されます。



以上で、省電力設定の予約実行の設定は完了です。ここでの例では、この後 23 時 00 分になった時点でグループ A に属する 4 台の装置に対して節電モードの省電力設定が自動で実行され、翌日の 7:00 まで省電力設定が適用されます。また、翌日の 7:00 になった時点で節電モードが解除され最大電力モードに戻ります。その後も、毎日 23 時 00 分に省電力設定が自動で実行されます。

なお、省電力設定の予約実行は、ツールを終了すると実施されません。省電力設定の予約実行を行っている期間中は、ツールを終了せず起動させたままの状態にしておいてください。

図 3-29 予約実行（6）



[同一グループに対して複数のスケジュールを設定する場合の注意事項]

- ・本ツールは同一グループに対して複数のスケジュールを設定することができます。例えば、下記のようなスケジュールを設定することができます。

複数スケジュール設定例（1）

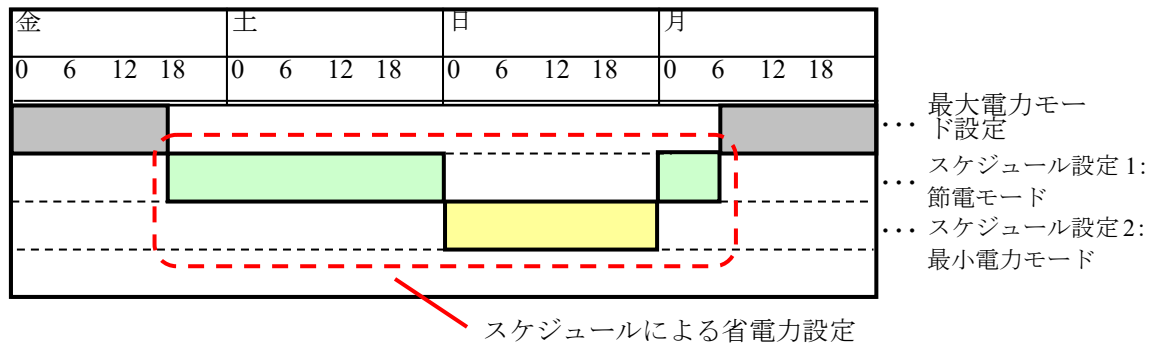
スケジュール 1：

毎週 金曜日 18:00～毎週 月曜日 6:00，省電力設定内容=節電モード

スケジュール 2：

毎週 日曜日 0:00～毎週 月曜日 0:00，省電力設定内容=最小電力モード

図 3-30 複数スケジュール設定例（１）



ただし、同一グループに対して複数のスケジュールを設定する場合、場合によっては意図したとおりの省電力設定が行われないケースがあります。
 例えば、下記のようなスケジュール設定の例が該当します。

複数スケジュール設定例（２）

スケジュール 1：

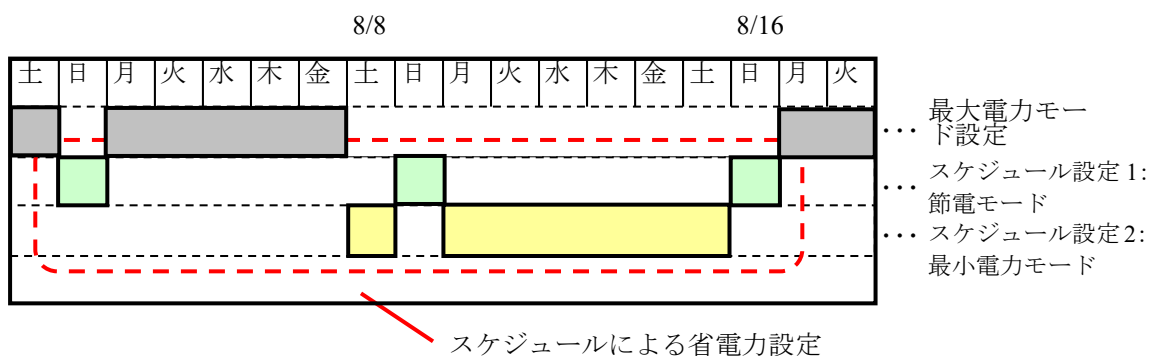
毎週 日曜日 0:00～毎週 月曜日 0:00, 省電力設定内容=節電モード

スケジュール 2：

2009 年 8 月 8 日 0:00～2009 年 8 月 16 日 0:00, 省電力設定内容=最小電力モード

夏休み期間中は最小設定にしたい

図 3-31 複数スケジュール設定例（２）



上記の 2 つの例で示した設定が行われるのは、スケジュールは下記（A）
 （B）（C）の 3 つの規則に従って動作するためです。

スケジュール期間開始時のリアクション：

(A) 他のスケジュールが期間中であっても，期間開始日時になったスケジュールの省電力設定モードに切り替わります。（各スケジュールに優先順位はありません。）

スケジュール期間終了時のリアクション：

(B) 他のスケジュールが期間中の場合は，その期間中のスケジュールの設定に戻ります。（期間中のスケジュールが複数存在する場合は最後に開始したスケジュールの設定に戻ります。）

(C) 他のスケジュールが一つも実行されていない場合は省電力設定なし（最大電力モード）に戻ります。

複数スケジュール設定例（2）で意図したとおりの省電力設定が行われるようにする，つまり夏休み期間中は常に最小電力設定が行われるようにする場合は，夏休み期間開始前（例えば8月8日）にスケジュール1を無効にし，夏休み期間終了後（例えば8月17日）に再びスケジュール1を有効にしてください。

- ・装置スリープを実施する場合,同一グループに対してスケジュール終了後と同時刻に別のスケジュール開始を実施するような登録はしないでください。必ず5分以上の間隔を空けてスケジュールを登録してください。

3.2.3 予約実行による省電力設定を解除する

予約実行による省電力設定を解除する方法には、登録されているスケジュールを無効にする方法と、登録されているスケジュールを削除する方法との2通りがあります。

(1) スケジュールを無効にする

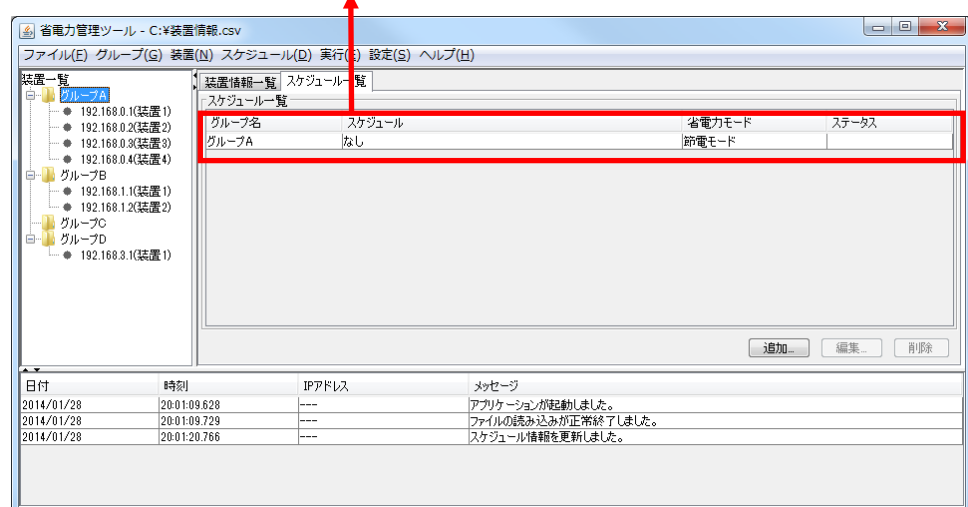
登録されているスケジュールを無効にするには、スケジュール一覧で、無効にしたいスケジュールを選択した後、[スケジュール]-[編集]メニューを実行し、[スケジュール設定]画面を開きます。

スケジュール設定画面を開いたら、「スケジュール設定を有効にする」チェックボックスからチェックを外し、[OK] ボタンを押下します。

無効になったスケジュールは、スケジュール一覧の[スケジュール]列上で「なし」と表示されます。無効になったスケジュールは、定刻になっても省電力設定または省電力設定解除の動作を行いません。従って、適用中のスケジュールを無効にした場合、スケジュールの終了時間を迎えても、装置に対して行った省電力設定はそのまま残留し、スケジュール一覧上では適用中（青色表示）のままとなります。

図 3-32 スケジュールの無効化

無効になったスケジュールは「なし」が表示されます。

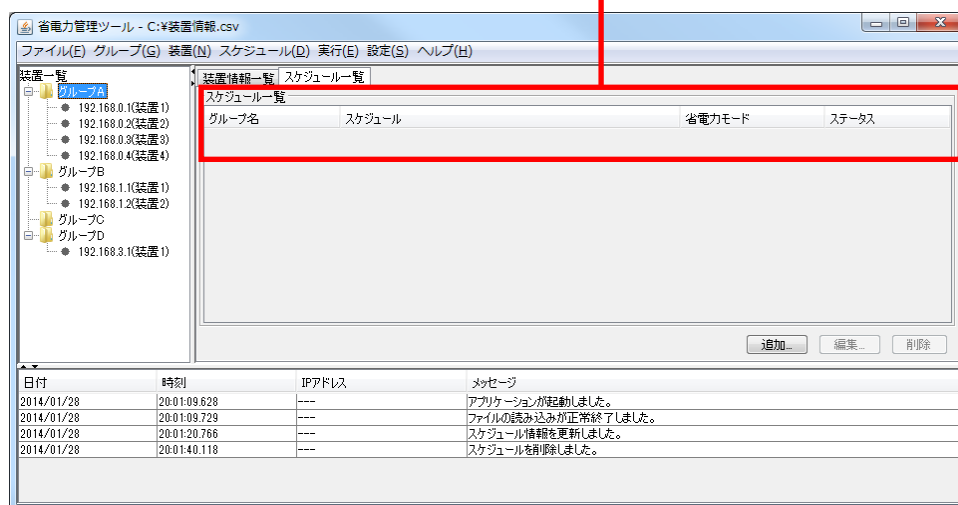


(2) スケジュールを削除する

登録されているスケジュールを削除するには、スケジュール一覧で、削除したいスケジュールを選択した後、[スケジュール]-[削除]メニューを実行します。
[削除確認]画面が開いたら、[はい]ボタンを押下します。

図 3-33 スケジュールの削除

登録されていたスケジュールがスケジュール一覧から削除されます。



3.2.4 スケジュール情報ファイルからスケジュールを登録する

「[3.1.2 装置情報ファイルから登録する](#)」では、グループ、および、装置の情報を定義した装置情報ファイルを用意して、ツールに読み込ませる方法について説明しました。ここでは、スケジュール情報ファイルを用意して、装置情報ファイルと併せて読み込みを行う方法について説明します。

(1) スケジュール情報ファイル

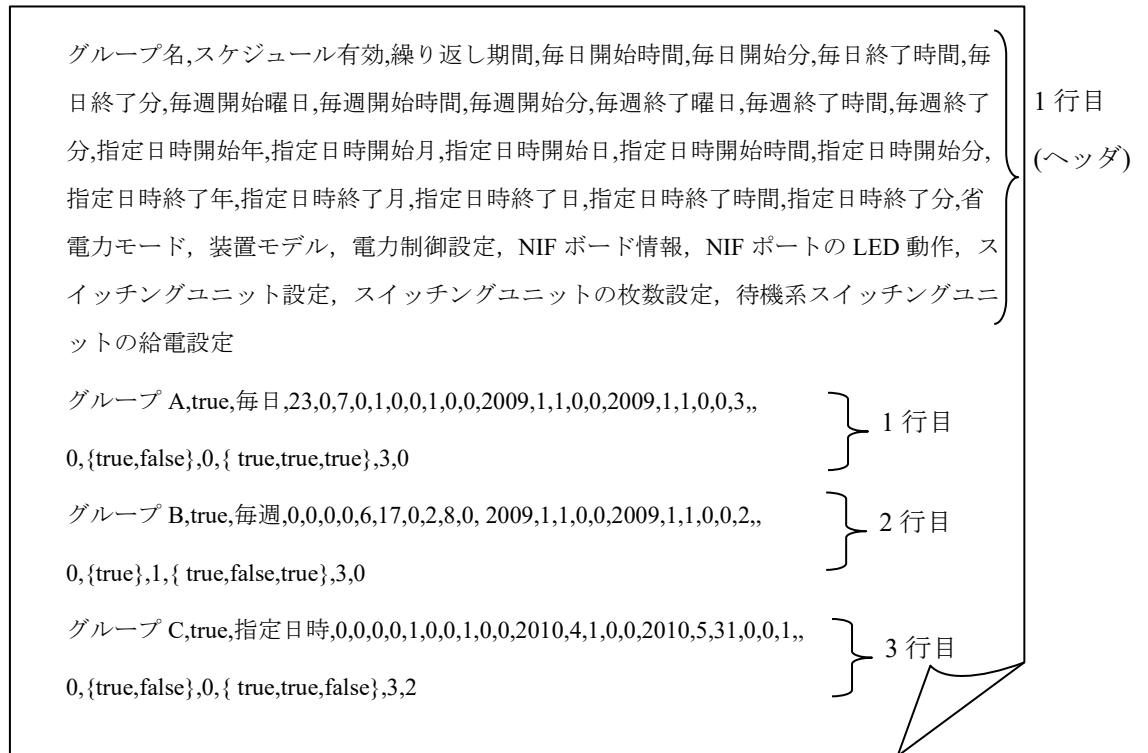
スケジュール情報ファイルは、[ファイル]-[名前を付けて保存]、または、[ファイル]-[上書き保存]メニューを実行した際に、装置情報ファイルのファイル名(拡張子.csvを除いた部分)に「_schedule」を付与したファイル名で、装置情報ファイルと併せて保存される、ツール上のスケジュール情報を記録したファイルです。例えば、装置情報ファイル名が「node.csv」ならば、対応するスケジュール情報ファイルは、「node_schedule.csv」になります。

スケジュール情報ファイルは、直接、[ファイル]-[開く]メニューからファイルを開くことはできません（ファイル名に「_schedule」が含まれるファイルは、ファイル選択画面に表示されず、選択することができません）。装置情報ファイルを読み込んだ際に、同じディレクトリに、装置情報ファイルと同名のスケジュール情報ファイルも存在していれば、併せて読み込まれます。つまり、スケジュール情報ファイルは、直接編集したり、作成したりするといったことをしなければ、普段は、存在を意識することのないファイルです。

スケジュール情報ファイルのフォーマットは、装置情報ファイル同様、CSV形式のテキストファイルであり、装置情報ファイルと同様に、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成し、ツールに読み込ませることができます。ただし、上述したように、スケジュール情報ファイルの読み込みは、装置情報ファイルの読み込み操作によって行います。

スケジュール情報ファイルの例を下記表に示します。

図 3-34 スケジュール情報ファイル



- ・1 行目にはヘッダ情報を記述し、2 行目以降にグループのスケジュール情報を記述します。※1※2
- ・各指定値が不正(範囲外)な場合、スケジュール情報ファイル読み込み時にエラーとなります。
- ・スケジュール情報の各項目は、すべて指定が必須であり、省略することはできません。各項目の指定値は次表の通りです。

表 3-4 スケジュール情報ファイルの指定値

項目	指定値
グループ名	スケジュール対象のグループの名前を 1～32 文字で指定します。
スケジュール有効	このスケジュールを有効にするか無効にするかを指定します。 ・ true…スケジュールが有効 ・ false…スケジュールが無効
繰り返し期間	省電力設定を行う時間帯の指定方法を指定します。 ・ 毎日…毎日の時間帯を指定して省電力にする ・ 毎週…曜日と時刻で時間帯を指定して省電力にする ・ 指定日時…年月日と時刻で時間帯を指定して省電力にする
毎日開始時間	繰り返し期間が毎日の場合、省電力設定を開始する時刻の時間

	を 0～23 の値で指定します。 繰り返し期間が毎日以外の場合には 0 を指定してください。
毎日開始分	繰り返し期間が毎日の場合、省電力設定を開始する時刻の分を 0～55 の値で指定します。設定可能な値は 5 分単位になります。 繰り返し期間が毎日以外の場合には 0 を指定してください。
毎日終了時間	終了時間です。値の指定方法は開始と同様です。
毎日終了分	終了分です。値の指定方法は開始と同様です。
毎週開始曜日	繰り返し期間が毎週の場合、省電力設定を開始する曜日を指定します。曜日は以下の数値で指定します。 日曜 … 1 月曜 … 2 火曜 … 3 水曜 … 4 木曜 … 5 金曜 … 6 土曜 … 7 繰り返し期間が毎週以外の場合には 1（日曜）を指定してください。
毎週開始時間	繰り返し期間が毎週の場合、省電力設定を開始する時刻の時間を 0～23 の値で指定します。 繰り返し期間が毎週以外の場合には 0 を指定してください。
毎週開始分	繰り返し期間が毎週の場合、省電力設定を開始する時刻の分を 0～55 の値で指定します。設定可能な値は 5 分単位になります。 繰り返し期間が毎週以外の場合には 0 を指定してください。
毎週終了曜日	終了曜日です。値の指定方法は開始と同様です。
毎週終了時間	終了時間です。値の指定方法は開始と同様です。
毎週終了分	終了分です。値の指定方法は開始と同様です。
指定日時開始年	繰り返し期間が指定日時の場合、省電力設定を開始する年月日の年を現在の年から 20 年先までの値で指定します。※3 ※4 ※5 繰り返し期間が指定日時以外の場合には現在の年を指定してください。
指定日時開始月	繰り返し期間が指定日時の場合、省電力設定を開始する年月日の月を 1～12 の値で指定します。※3※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 1 を指定してください。
指定日時開始日	繰り返し期間が指定日時の場合、省電力設定を開始する年月日の日を 1～31 の値で指定します。※3※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 1 を指定してください。
指定日時開始時間	繰り返し期間が指定日時の場合、省電力設定を開始する時刻の時間を 0～23 の値で指定します。※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 0 を指定してください。
指定日時開始	繰り返し期間が指定日時の場合、省電力設定を開始する時刻の

分	分を 0～55 の値で指定します。設定可能な値は 5 分単位になります。※4 繰り返し期間が指定日時以外の場合には 0 を指定してください。
指定日時終了年	終了年です。値の指定方法は開始と同様です。
指定日時終了月	終了月です。値の指定方法は開始と同様です。
指定日時終了日	終了日です。値の指定方法は開始と同様です。
指定日時終了時間	終了時間です。値の指定方法は開始と同様です。
指定日時終了分	終了分です。値の指定方法は開始と同様です。
省電力モード	スケジュールによる省電力設定のモードを 1～5 の値で指定します。 ・ 1…最小電力モード ・ 2…節電モード ・ 3…最大電力モード ・ 4…カスタムモード ・ 5…装置スリープ
装置モデル	省電力モードでカスタムモードを設定する場合、設定対象の装置モデルを指定します。下記のいずれかを指定してください。 ・ AX6708S ・ AX6608S, AX6604S ・ AX6308S, AX6304S
電力制御設定	スケジュールによる電力制御設定のモードを 0～2 の値で指定します。 ・ 0…通常モード ・ 1…スイッチングユニットの消費電力を下げる ・ 2…スイッチングユニット, NIF の消費電力を下げる
NIF ボード情報	スケジュールによる NIF ボードの稼働有無を NIF ボード数分指定します。 ・ true…NIF ボードが稼働 ・ false…NIF ボードが停止
NIF ポートの LED 動作	スケジュールによる NIF ポートの LED の点灯または消灯を 0～1 の値で指定します。 ・ 0…点灯 ・ 1…消灯
スイッチングユニット設定	スケジュールによるスイッチングユニット設定の稼働有無をスイッチングユニット数分指定します。 ・ true…スイッチングユニットが稼働 ・ false…スイッチングユニットが停止

スイッチングユニットの枚数設定	スイッチングユニットの搭載枚数を 1～3 の値で指定します。
待機系スイッチングユニットの給電設定	待機系スイッチングユニットの給電設定を 0～2 の値で指定します。 ・ 0…給電する ・ 1…部分的に給電する ・ 2…給電しない

※1 1 行目（ヘッダ情報）は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。（図 3-34 と同様の記述にする必要はありません。）

※2 スケジュール情報ファイルには空行（改行だけの行）を記述できません。記述した場合にはエラーになります。

※3 年月日の組み合わせがカレンダー上に存在しない日（例：2009 年 2 月 31 日や 2009 年 2 月 29 日）の場合にはエラーになります。

※4 終了日時に過去の年月日時刻を入力した指定日時のスケジュールは、無効の状態に登録されます。

※5 開始日時または終了日時に 20 年以上先を指定した指定日時のスケジュールは、無効の状態に登録されます。（例：2009 年ならば 2009～2029 が指定可能、2030 年 1 月 1 日 0:00 以降は無効状態で登録されます。）

[装置情報ファイルとの整合性に関する注意事項]

- ・ スケジュール情報は、装置情報ファイル上に存在しないグループに対して定義しないでください。このような定義があるスケジュール情報ファイルを読み込むと、ツール上からスケジュール情報を正常に扱えなくなります。（逆のケース、つまり、スケジュール情報が未定義のグループを、装置情報ファイルに定義することは問題ありません。）

[その他の注意事項]

- ・ 文字列「_schedule」は、スケジュール情報ファイルのファイル名に予約されているため、装置情報ファイル名に文字列「_schedule」を含めることはできません。
- ・ グループ数がそれほど多くない場合（数グループ程度以内の場合）は、ツールからの操作でスケジュールを登録することをお勧めします。（ツールからの操作でスケジュールを登録の方がより簡単です。）
- ・ スケジュール情報ファイルの各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール

上で正しく表示されない場合があります。

(2) 作成したスケジュール情報ファイルを読み込む

スケジュール情報ファイルの読み込みは、装置情報ファイルの読み込み操作によって行います。用意したスケジュール情報ファイルを、対応する装置情報ファイルと同じディレクトリに配置し、「[3.1.2 \(2\)作成した装置情報ファイルを読み込む](#)」に記載の手順で、装置情報ファイルの読み込みを行ってください。

4. ツールの設定ファイル

この章では、省電力管理ツールの設定ファイルについて説明します。

[4.1 設定ファイル](#)

[4.2 設定項目一覧](#)

4.1 設定ファイル

省電力管理ツールは、起動時に設定ファイルの読み込みを行います。従って、省電力管理ツールを起動する前に、設定ファイルの内容を変更することで、ツールの動作を変更することができます。

設定ファイルは以下に格納されています。

<TARGETDIR>%EnergySavingTool%\EnergySavingTool.properties

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:%Alaxala%\AX-Networker's-Utility

4.2 設定項目一覧

省電力管理ツールの設定ファイルに定義されている項目には、以下があります。

なお、本表で記載されていない設定項目は、編集しないでください。

設定ファイルの編集はツールが起動していない時に行います。ツール起動中に設定ファイルの設定項目を編集した場合には、[ツール設定]画面で[OK]ボタンを押下した時、およびツールを終了した時に上書きされますので、ご注意ください。

表 4-1 省電力管理ツールの設定項目一覧

項番	項目	意味
1	LOG_FILE_NAME	動作ログファイルのファイル名です。※1※2※3 デフォルトは Table.log です。
2	LOG_FILE_SIZE	動作ログファイルのサイズです[単位：MB]。 デフォルトは 8[MB]です。半角数値 0～16 を指定可能です。0 を指定した場合はログが出力されません。上記以外の場合は 10[MB]で動作します。
3	LOG_KEEP_AMOUNT	動作ログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達すると、タイムスタンプが付与されたファイル名にリネームされて退避されますが、本項目は、動作ログファイル数の上限を定義します[単位：個]。ディレクトリ内に退避され蓄積したファイル数が、本項目の定義値に達すると、次回ログ退避時には、最古の退避ファイルが上書きされます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1～50 を指定可能です。上記以外の場合はデフォルト値で動作します。
4	LOG_OUTPUT_DIR	動作ログ出力先ディレクトリです。 デフォルトは table-log です。※1※2※3
5	TRACE_LOG_FILE_NAME	デバッグログファイルのファイル名です。

		デフォルトは Trace.log です。 ※1※2※3
6	TRACE_LOG_FILE_SIZE	デバッグログファイルのサイズです[単位：MB]。 デフォルトは 8[MB]です。半角数値 0～16 を指定可能です。0 を指定した場合はログが出力されません。上記以外の場合は 10[MB]で動作します。
7	TRACE_LOG_KEEP_AMOUNT	デバッグログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに達すると、タイムスタンプが付与されたファイル名にリネームされて退避されますが、本項目は、デバッグログファイル数の上限を定義します[単位:個]。ディレクトリ内に退避され蓄積したファイル数が、本項目の定義値に達すると、次回ログ退避時には、最古の退避ファイルが上書されます。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1～50 を指定可能です。上記以外の場合はデフォルト値で動作します。
8	TRACE_LOG_LEVEL	プログラムの中で指定したデバッグログの出力レベルがこの項目で指定した値と同じか高い場合にログを出力します。ログ出力レベルは高い順に次の 3 つがあります。 ・ ERROR ・ INFO ・ DEBUG デフォルトは INFO です。
9	TRACE_LOG_OUTPUT	デバッグログを出力するかどうかを指定します。 ON に設定するとログが出力され、OFF に設定するとログは出力されません。 デフォルトは ON です。
10	TRACE_LOG_OUTPUT_DIR	デバッグログ出力先ディレクトリです。 デフォルトは trace-log です。 ※1※2※3
11	energysaving.wattage.login.username	telnet にて、装置にログインするユーザ名を 6 文字以上 16 文字以内の半角英数字で指定します。

12	energysaving.wattage.login.password	telnet にて、装置にログインするユーザ名のパスワードを指定しないか、6 文字以上 128 文字以内の半角英数字で指定します。※2
13	energysaving.wattage.adminpassword	装置の管理者モードのパスワードをします。※2
14	energysaving.sleep.login.username	装置スリープを実施するユーザ名を指定します。 (「 2.2 (5) 対象装置で装置スリープ機能用のユーザを登録します 」で登録した装置スリープ用ユーザを指定してください)
15	energysaving.sleep.login.password	装置スリープを実施するユーザ名のパスワードを指定します。※2 (「 2.2 (5) 対象装置で装置スリープ機能用のユーザを登録します 」で登録した装置スリープ用ユーザのパスワードを指定してください)
16	common.appinstcheck.port	本ツールが既に起動しているかどうかを確認する際に利用する TCP ポート番号です。5001～65535 の範囲から指定します。デフォルトは 9482 です。本ツールのデフォルトである TCP ポート 9482 が既に使用されており、別の TCP ポート番号へ変える場合、他のアプリケーションで利用している TCP ポート番号と重ならないように設定してください。他のアプリケーションが使用している TCP ポート番号を確認するには、コマンドプロンプト上で”netstat -an”コマンドを実行して、使用しているポートを確認してください。※4

※1…ディレクトリ名およびファイル名として利用できない文字を設定した場合にはログが出力されなくなりますのでご注意ください。

※2…設定ファイル上では、指定値に以下の文字を含む場合、その文字の前に ¥ (半角円記号) を追加して指定してください。

[対象の文字]

¥ # ! = :

例：値 C:¥Documents and Settings¥operator#1¥trace を指定する場合

→設定ファイルでの指定値（下線部が追加指定分）

~~C:\~~~~Documents and Settings~~~~operator~~~~#1~~~~trace~~

※3…AX-Networker's-Utility の他のツールを利用している場合、

共通のディレクトリ名およびファイル名を指定しないでください。

※4…本ツール用の TCP ポート番号が使用されているかどうかを確認するには
コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

```
netstat -an | findstr ":9482"
```

本ツール用の TCP ポート番号が使用されている場合には、以下のように表示されます。左から 2 番目の文字列の末尾が "9482" になります。

TCP	127.0.0.1:9482	0.0.0.0:0	LISTENING
-----	----------------	-----------	-----------

本ツール用の TCP ポート番号が使用されていない場合には、何も表示されません。

本ツールおよび他のアプリケーションで利用している TCP ポート番号を確認するには、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

```
netstat -an | findstr "TCP"
```

本ツールおよび他のアプリケーションで利用しているポート番号は、以下のように表示されます。左から 2 番目の文字列の : 文字の後ろが TCP ポート番号です。

TCP	0.0.0.0:135	0.0.0.0:0	LISTENING
TCP	0.0.0.0:445	0.0.0.0:0	LISTENING
TCP	127.0.0.1:9482	0.0.0.0:0	LISTENING
:	:	:	:

(以下省略)

本ツールで利用する TCP ポート番号をデフォルトから変更する場合には
上記の利用しているポート番号以外を指定してください。

5. トラブルシューティング

この章では, 省電力管理ツールのトラブルシューティングについて説明します。

[5.1 トラブル発生時の対応](#)

[5.2 メッセージ一覧](#)

[5.3 ログファイル](#)

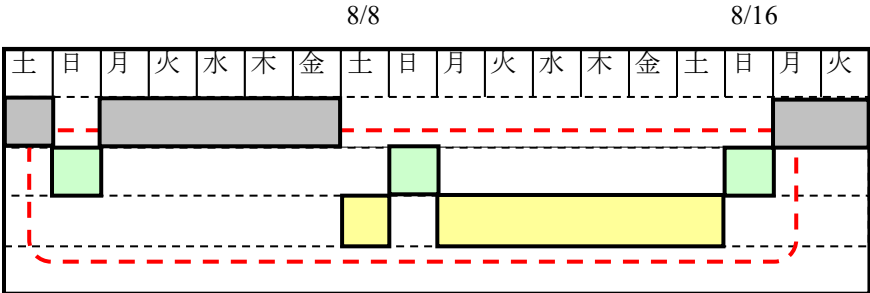
5.1 トラブル発生時の対応

本ツールの操作中に発生するトラブルへの対応方法を解説します。

表 5-1 トラブル発生時の対応方法

項番	現象
	原因
	対応方法
1	ツールの操作により、[装置情報設定]画面や、[グループ情報設定]画面等の画面を開いたところ、入力項目のないグレーの画面が表示された。
	ツールの操作により画面を開いた際、まれに、入力項目のないグレーの画面が表示される場合があります。
	一度[×]ボタンで画面を閉じ、操作を再度行って画面を開き直してください。
2	省電力設定操作を即時で実行またはスケジュール実行したところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。 メッセージ： ・「装置情報取得に失敗しました。（エラーメッセージ：[エラーメッセージ]）」 ・「消費電力情報取得に失敗しました。（エラーメッセージ：[エラーメッセージ]）」 もしくは、最大電力モード設定操作、または、装置情報取得操作を実行したところ、ログ情報テーブルに上記のメッセージが表示された。
	以下が原因として考えられます。 ①ツールに登録した装置の IP アドレスが誤っている。 ②「 2.2 装置の設定を行う 」に記載の設定が行われていない。 ③装置側の設定、もしくは、省電力管理 PC（本ツールを起動している PC）側のネットワーク設定に起因して、省電力管理 PC と、装置間が、通信不可の状態になっている。 ④省電力管理 PC（本ツールを起動している PC）と、装置間の回線が物理的に切断している。
	①または②に問題が無いかどうか、確認してください。
	①が原因の場合は、[装置]-[編集]操作により、装置の IP アドレスを修正したのち、操作を再度実行してください。 ②が原因の場合は、「 2.2 装置の設定を行う 」の内容に従って装置の設定を行った後、操作を再度実行してください。
	①、②に問題が無い場合は、③または④について確認し、省電力管理サーバと、装置間

	を通信可能な状態に復旧してください。
3	省電力設定操作を即時で実行またはスケジュール実行したところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。 メッセージ： 「省電力設定に失敗しました。（要因：ロック取得失敗）」 以下の 3 つが該当することで、上位装置の電力制御設定が変更となり、これにより省電力管理 PC—下位装置間の通信が切れ、下位装置側でコンフィグレーション変更の排他ロックが未解放になったことが原因として考えられます。 ・グループ内に複数（例えば 2 台）の装置が存在し、これらの装置は以下のような直列構成になっており省電力管理 PC—下位装置間に冗長経路(迂回経路)が存在しない。 <pre> graph LR PC[省電力管理 PC] --- Dots1[...] Dots1 --- UD[上位装置] UD --- Dots2[...] Dots2 --- LD[下位装置] subgraph SameGroup [同一グループ] UD LD end </pre> ・上記のグループに対する省電力設定操作（即時実行またはスケジュール実行）を行った ・省電力設定操作を即時で実行またはスケジュール実行し省電力モードの変更を行った（省電力設定により装置の電力制御設定を変更すると装置のスイッチングユニットと NIF の初期化により通信が停止する場合があります。） 省電力設定が失敗終了したとしても、設定自体は行われている場合もありますので、省電力設定に失敗した装置に対して 1 度装置情報取得操作を行ってから [省電力設定] 画面を開き、装置の省電力設定状態を確認してください。（設定が行われていればその設定内容が反映されています。） 設定が行われていなければ、排他ロックが時限解除されるまでしばらく間をおき、失敗によって設定が行われなかった装置に対し、省電力設定操作の即時実行を再実施してください。排他ロックが時限解除されるまでの待ち時間の目安は 4 分です。 なお、装置に下記の運用コマンドを投入すると時限解除を待たずに排他ロックを解除できます。 排他ロックを解除する運用コマンド： <pre>set config-lock-status disable</pre> スケジュール実行で本現象が発生した場合は上記で復旧した後も現象が再発する可能性

	がありますので、同一グループ内で上図のような上位装置、下位装置が混在しないよう装置のグループ間移動、また必要であればグループ名を変更してグループを再編成してください。
4	ある装置に対し、以下の通り、期間の重なる複数の省電力設定操作をスケジュール実行したところ、意図したとおりの省電力設定にならない。 ・スケジュール1  …毎週日曜 節電モード ・スケジュール2  …夏休み期間中 2009/8/8～2009/8/16 最小電力モード  スケジュールは下記 (A) (B) (C) の3つの規則に従って動作するためです。 スケジュール期間開始時のリアクション： (A) 他のスケジュールが期間中であっても、期間開始日時になったスケジュールの省電力設定モードに切り替わります。(各スケジュールに優先順位はありません。) スケジュール期間終了時のリアクション： (B) 他のスケジュールが期間中の場合は、その期間中のスケジュールの設定に戻ります。(期間中のスケジュールが複数存在する場合は最後に開始したスケジュールの設定に戻ります。) (C) 他のスケジュールが一つも実行されていない場合は、省電力設定なし(最大電力モード)  に戻ります。 意図したとおりの省電力設定が行われるようにする、つまり夏休み期間中は常に最小電力設定が行われるようにする場合は、夏休み期間開始前(例えば8月8日)にスケジュール1を無効にし、夏休み期間終了後(例えば8月17日)に再びスケジュール1を有効にしてください。
5	省電力設定操作を即時で実行またはスケジュール実行したところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示され、操作が失敗終了した。 メッセージ： ・「装置情報取得に失敗しました。(要因：オペレーションに失敗，エラーメッセージ：ERR0300 : Fatal error. Cannot generate 'message ID' for connection.)」 もしくは、最大電力モード設定操作、または、装置情報取得操作を実行したところ、ログ情報テーブルに上記のメッセージが表示された。 ツールと装置間の通信時に利用するファイルの内容が不正な内容になっていることが原

	因として考えられます。 以下のファイルを削除して、実施した操作を再度行ってください。 <TARGETDIR>%EnergySavingTool%message.count <TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker's-Utility
6	AX2500S シリーズの装置を管理対象にしている場合、以下の画面操作を実施した際や以下の事象が発生した際に、以下のエラーメッセージが表示され、消費電力および累計電力量の値が更新されない。 [画面操作] ・ [装置情報取得]を行った [事象] ・ スケジュール実行で装置スリープの省電力設定を行った [エラーメッセージ] 消費電力取得に失敗しました。(エラーメッセージ: The command execution failed, because "xxx" is executing.) xxx…console, vty0～vty15 のいずれか 上記[画面操作]を行った際または[事象]が発生した際、AX2500S シリーズの装置の CLI 上で、以下のように他のコマンドが実行されている最中だったことが考えられます。 ・ 表示結果が 1 画面に収まらない場合にページングのための入力待ちになっている(例: show running-config 等) ・ ページングのための入力待ち以外の場合、コマンドの実行に時間がかかっている その結果、省電力管理ツールからの操作が失敗します。 まず、他のコマンドの実行を終了させてください。その後、以下を実行してください。 画面操作時に本エラーが発生した場合には、その画面操作を再実施してください。事象発生時に本エラーが発生した場合には、装置スリープ終了後、画面操作から[装置情報取得]を行って、消費電力および累計電力量を更新してください。

5.2 メッセージ一覧

(1) 省電力管理ツールのダイアログ表示メッセージ一覧

省電力管理ツールのダイアログ上で表示されるメッセージの一覧を次の表に示します。

表 5-2 ダイアログ表示メッセージ一覧

項番	メッセージ	内容
1	グループ名は 1～32 文字の文字列で入力してください。	グループ名の入力値が不正です。
2	そのグループ名を持つグループは既に存在します。	グループ名はツール上で一意にする必要があります。
3	IP アドレスは 10 進ドット記法の IPv4 アドレスで入力してください。	IP アドレスの入力値が不正です。
4	その IP アドレスを持つ装置は既に存在します。	IP アドレスはツール上で一意にする必要があります。
5	装置名は 0～64 文字の文字列で入力してください。	装置名の入力値が不正です。
6	その IP アドレスは装置に設定できないアドレスです。再度入力してください。	以下の IP アドレスは入力できません。 ・ 0.*.*.* ・ 127.*.*.* ・ 224～255.*.*.* *…0～255
7	アカウントは 6～16 文字の半角英数字で入力してください。	アカウントの入力値が不正です。
8	パスワードは 6～16 文字の半角英数字で入力してください。	パスワードの入力値が不正です。
9	設定ファイルの保存に失敗しました。	設定ファイル「EnergySavingTool.properties」の保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、設定ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしているか、あるいは、設定ファイルが読み取り専用属性になっていないかを確認してく

		ださい。
10	本ツールは同時に 2 つ以上起動できません。またはポートが使用されています。終了します。	本ツールがすでに起動しているか、本ツールが使用する TCP ポート（デフォルトは 9482）が使用されています。 別のアプリケーションで TCP ポート 9482 が利用されている場合は、そのアプリケーションを終了させるか、「 4.2 設定項目一覧 」記載の <code>common.appinstcheck.port</code> の値を変更して本ツールを起動させてください。
11	本ツールの起動チェックに失敗しました。終了します。	本ツールの 2 重起動チェックに失敗しました。本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
12	現在よりも過去の日時を指定したスケジュールを登録します。このスケジュールは[スケジュール設定を有効にする]チェックを OFF にした状態で登録します。宜しいですか？	「スケジュール」画面から過去の日時を指定したスケジュールを登録しようとした際に表示されるメッセージです。
13	処理中です。処理終了後に操作を再実施してください。	処理実行中に、別の処理を実行する画面操作を行うと、本メッセージが表示されます。
14	装置情報ファイルの上書き保存に失敗しました。	装置情報ファイルの上書き保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、装置情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしているか、あるいは、装置情報ファイルが読み取り専用属性になっていないかを確認してください。
15	装置情報ファイルの保存に失敗しました。	装置情報ファイルの保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、装置情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしているか、あるいは、装置情報ファイルが読み取り専用属性になっていないか、確認してください。

		い。
16	スケジュール情報ファイルの上書き保存に失敗しました。	スケジュール情報ファイルの上書き保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、スケジュール情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしていないか、あるいは、スケジュール情報ファイルが読み取り専用属性になっていないか、確認してください。
17	スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。	スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。本メッセージが表示された場合は、スケジュール情報ファイルを外部のエディタ等で開いたままの状態にしていないか、あるいは、スケジュール情報ファイルが読み取り専用属性になっていないか、確認してください。
18	装置情報ファイル名に「_schedule」を含めることはできません。 他のファイル名を指定してください。	装置情報ファイル名に「_schedule」を含めることはできません。
19	開始日時が終了日時よりも前になるように設定してください。	[スケジュール設定]画面で、開始日時が終了日時よりも後になるように設定を行った場合に、本メッセージが表示されます。
20	開始時刻と終了時刻が同一です。再度設定してください。	[スケジュール設定]画面で、毎日実行するスケジュールを選択しており、かつ開始時刻と終了時刻が同じ場合に、本メッセージが表示されます。
21	対象のグループには、開始日時が同一のスケジュールが登録されています。開始日時が重ならないようスケジュールを登録してください。	[スケジュール設定]画面で、あるグループに対して、同一の開始日時のスケジュールを複数登録することはできません。
22	開始曜日時分と終了曜日時分が同一です。再度設定してください。	[スケジュール設定]画面で、毎週実行するスケジュールを選択しており、かつ開始曜日時刻と終了曜日時刻が同じ場合に、本メッセージが表示されます。
23	適用する省電力設定を選択してください。	[スケジュール設定]画面で、適用する省電力設定が未選択の場合に、本メッセー

		ジが表示されます。
24	カスタムモード選択時は、[カスタム設定...]ボタンを押して省電力設定を行ってください。	[省電力設定]画面で、適用する省電力設定がカスタムモードで[カスタム設定...]が設定されていない場合に、本メッセージが表示されます。
25	装置スリープの日数は 45 日間以内になるように設定してください。	装置スリープの[スケジュール設定]画面で、指定した期間が 46 日以上となる場合に、本メッセージが表示されます。
26	省電力モードを選択してください。	[省電力設定]画面で、適用する省電力設定が未選択の場合に、本メッセージが表示されます。
27	装置情報の取得に失敗したため、カスタム設定画面は表示されません。装置の状態を確認してください。	[省電力設定]画面で,[カスタム...]ボタンを押下した場合に、本メッセージが表示されます。
28	装置情報が保存されていません。保存しますか？	装置情報が未保存の際に新規作成、開く、終了操作を行った場合に表示される確認メッセージです。
29	グループ [グループ名] を削除しますか？	グループの削除を行う際に表示される確認メッセージです。
30	グループ [グループ名] を削除します。グループ [グループ名] に設定されているスケジュール情報も合わせて削除します。よろしいですか？	スケジュールが登録されているグループの削除を行う際に表示される確認メッセージです。
31	装置 [IP アドレス(装置名)] を削除しますか？	装置の削除を行う際に表示される確認メッセージです。
32	選択されたスケジュールを削除しますか？	スケジュールの削除を行う際に表示される確認メッセージです。
33	装置に適用中のスケジュール設定を変更します。装置に適用中のスケジュールに対してスケジュール設定有効/無効の切替や、適用する省電力設定の変更を行ったとしても、装置の設定は一切変更されません。装置の設定を変更したい場合は、別途省電力設定操作を行ってください。宜しいですか？ ※毎日、毎週、指定日時の設定内容を	既に装置に適用中のスケジュールを変更する際に表示される確認メッセージです。

	変更しスケジュールが期間から外れる場合は、装置に適用中の省電力設定解除が行われます。	
34	装置に適用中のスケジュールを削除します。装置に適用中のスケジュールを削除しても装置の設定は一切変更されません。装置の設定を変更したい場合は、別途省電力設定操作を行ってください。宜しいですか？	既に装置に適用中のスケジュールを削除する際に表示される確認メッセージです。
35	装置スリープのスケジュール設定を変更します。宜しいですか？ 装置スリープ適用中はスケジュール設定を変更しても装置の設定は一切変更されません。	装置スリープのスケジュールの削除を行う際に表示される確認メッセージです。
36	グループ [グループ名] に対して、装置情報取得を行いますか？	グループに対して装置情報取得を行う際に表示される確認メッセージです。
37	グループ [グループ名] に対して、最大電力モード設定を行いますか？	グループに対して最大電力モード設定を行う際に表示される確認メッセージです。
38	装置 [IP アドレス(装置名)] に対して、装置情報取得を行いますか？	装置に対して装置情報取得を行う際に表示される確認メッセージです。
39	装置 [IP アドレス(装置名)] に対して、最大電力モード設定を行いますか？	装置に対して最大電力モード設定を行う際に表示される確認メッセージです。
40	カスタム設定画面を開く前に、装置情報を取得します。宜しいですか？	カスタム設定を行う際に表示される確認メッセージです。
41	装置情報の取得をキャンセルしたため、カスタム設定画面は表示されません。	カスタム設定画面を開く前の装置情報取得をキャンセルした際に表示される確認メッセージです。カスタム設定画面を開く場合は、装置情報取得をキャンセルしないでください。
42	グループ [グループ名] にはスケジュールが登録されています。省電力設定を行った後に グループ [グループ名] に属する装置に対してスケジュールによる省電力設定が行われる可	既にスケジュールが登録されているグループに対して、即時での省電力設定を行う際に表示される確認メッセージです。

	能性がありますので, 操作後にスケジュール登録状況を確認してください。 宜しいですか？	
43	グループ [グループ名] に対して [省電力モード] 設定を行いますか？※ 通信が停止する可能性があります。	グループに対して省電力設定を行う際に 表示される確認メッセージです。対象の 装置と省電力モードによって, 一時的に 通信が停止する可能性があります。 [省電力モード] には以下の文字が入り ます。 ・最大電力モード ・節電モード ・最小電力モード ・カスタムモード
44	装置 [IP アドレス(装置名)] に対して [省電力モード] 設定を行いますか？ ※通信が停止する可能性があります。	装置に対して省電力設定を行う際に表示 される確認メッセージです。対象の装置 と省電力モードによって, 一時的に通信 が停止する可能性があります。 [省電力モード] には以下の文字が入り ます。 ・最大電力モード ・節電モード ・最小電力モード ・カスタムモード

(2) 省電力管理ツールのログ情報テーブルに表示されるメッセージ一覧

省電力管理ツールのログ情報テーブル上に表示されるメッセージの一覧を次の表に示します。

表 5-3 ログ情報テーブル表示メッセージ一覧

項番	メッセージ	内容
1	装置の移動に失敗しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ&ドロップ 操作により, 装置をあるグループから他 のグループに移動した際, エラーが発生 しました。

		本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
2	設定ファイルの保存に失敗しました。	設定ファイル「EnergySavingTool.properties」の保存に失敗しました。設定ファイルが外部のエディタで開かれており、ロックがかかっている状態か、ファイルが読み取り専用属性になっている可能性があります。設定ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
3	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。（ファイルの内容が不正です。ファイル名=[ファイル名]）	装置情報ファイルの内容が不正です。ファイルの内容を確認してください。
4	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。（デリミタが不正です。デリミタ=[デリミタ]）	装置情報ファイルの区切り文字が不正です。ファイルの内容を確認してください。
5	ファイル読み込み中に不正な値を検出しました。（ファイル名=[ファイル名]，行番号=[行番号]，[項目名]=[値]）	装置情報ファイルの内容が不正です。該当の項目の値を修正した後、ファイルの読み込みを行ってください。
6	ファイル読み込み中に重複登録エラーを検出しました。（ファイル名=[ファイル名]，行番号=[行番号]，[項目名]=[値]）	[項目名]が「IP アドレス」の場合、装置情報ファイルで IP アドレスの重複を検知しました。IP アドレスを確認および修正した後、ファイルの読み込みを行ってください。 [項目名]が「IP アドレス」以外の場合、スケジュール情報ファイルでスケジュールの重複を検知しました。スケジュールを確認および修正した後、ファイルの読み込みを行ってください。
7	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。（ファイル [ファイル名]	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、指定したファイルが

	が見つかりません。)	見つからなかった場合に本メッセージが表示されます。 [ファイル]-[開く]操作で再度装置情報ファイルの選択・読み込みを行ってください。
8	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。(毎週繰り返しのスケジュールに曜日が指定されていません。ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号])	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、曜日の指定が1つもない「毎週繰り返し」のスケジュール情報を検出しました。 スケジュール情報ファイルの該当行を修正した後、[ファイル]-[開く]操作で再度装置情報ファイルの選択・読み込みを行ってください。
9	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。(実行日時が重なるスケジュールが登録されています。同一グループに対して複数のスケジュールを同時に実行することはできないため、実行日時が重ならないスケジュールを設定してください。ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号 1], [行番号 2])	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、実行日時が重なるスケジュール登録をチェックアウトしました。行番号 1, 行番号 2 には、最初にチェックアウトされた、実行日時が重なる 2 件のスケジュール情報の行番号が表示されます。
10	ファイル読み込み中に重複登録エラーを検出しました。(同一のスケジュールが既に登録されています。同一グループに対して複数のスケジュールを同時に実行することはできないため、異なるスケジュールを設定してください。ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号 1], [行番号 2])	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、同一のスケジュール登録(重複登録)をチェックアウトしました。行番号 1, 行番号 2 には、最初にチェックアウトされた、2 件の同一スケジュール情報の行番号が表示されます。
11	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。(終了日時が開始日時と同一もしくは開始日時よりも過去に設定されています。ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号])	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、終了日時が開始日時と同一もしくは過去に設定されているスケジュールをチェック

		アウトしました。最初にチェックアウトされたスケジュール情報の行番号が表示されます。
12	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。（開始曜日時分と終了曜日時分が同一です。ファイル名=[ファイル名]，行番号=[行番号]）	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、開始の曜日時分秒と終了の曜日時分秒に同一の値が設定されているスケジュールをチェックアウトしました。最初にチェックアウトされたスケジュール情報の行番号が表示されます。
13	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。（開始時刻と終了時刻が同一です。ファイル名=[ファイル名]，行番号=[行番号]）	[ファイル]-[開く]操作で装置情報ファイルを読み込んだ際、併せて行われるスケジュール情報ファイル読み込み時に、開始の時刻と終了の時刻同一の値が設定されているスケジュールをチェックアウトしました。最初にチェックアウトされたスケジュール情報の行番号が表示されます。
14	処理中にエラーが発生しました。前提ソフトウェア、または、インストール時に展開された JAR ファイルが所定のディレクトリに存在しない可能性があります。	AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド（インストール編）および本ユーザーズガイドを参照し、前提ソフトウェアのファイルおよびインストール時に展開されたファイルがインストール先ディレクトリに存在するかどうかを確認してください。ファイルが存在しない場合には、再度インストール作業を行う必要があります。
15	処理中にエラーが発生しました。	処理中に予期しないエラーが発生しました。本メッセージが表示された場合は、販売元に問い合わせてください。
16	装置を移動しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ&ドロップ操作により、装置をあるグループから他のグループに移動した際に表示される操作イベントログです。
17	現在よりも過去の終了日時を指定し	スケジュール情報ファイルを読み込んだ

	たスケジュール情報が存在します。これらのスケジュール情報は[スケジュール設定を有効にする]チェックを OFF にした状態で登録します。	際、現在よりも過去の終了日時を指定したスケジュール情報が存在することを検知しました。
18	現在年よりも過去の開始年を指定したスケジュール情報が存在します。これらのスケジュール情報は開始日時を現在の日時に変更して登録します。	スケジュール情報ファイルを読み込んだ際、現在年よりも過去の開始年を指定したスケジュール情報が存在することを検知しました。これらのスケジュールは開始日時を現在の日時に変更します。
19	現在よりも [年] 年以上先の日時を指定したスケジュール情報が存在します。これらのスケジュール情報は [スケジュール設定を有効にする] チェックを OFF にした状態で登録します。	スケジュール情報ファイルを読み込んだ際、現在よりも[年]年間未来の日時を指定したスケジュール情報が存在することを検知しました。
20	ファイルの読み込みに失敗しました。	[ファイル]-[開く]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージとともに出力される以下のいずれかのメッセージの内容を確認してください。 「ファイル読み込み中にエラーを検知しました。(エラーメッセージ)」 「ファイル読み込み中に不正な値を検知しました。(エラーメッセージ)」 「ファイル読み込み中に重複登録エラーを検知しました。(エラーメッセージ)」 上記メッセージが出力されていない場合は以下の対処を行ってください。指定した装置情報ファイルまたはアカウント情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。
21	ファイルの上書き保存に失敗しました。	[ファイル]-[上書き保存]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージとともに出力される以下のいずれかのメッセージの内容を確認して

		ください。 「装置情報ファイルの保存に失敗しました。」 「スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。」
22	ファイルの保存に失敗しました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージとともに出力される以下のいずれかのメッセージの内容を確認してください。 「装置情報ファイルの保存に失敗しました。」 「スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。」
23	アプリケーションが正常終了しませんでした。	本ツール終了時に、ツールの設定情報や装置情報をファイルに保存できなかった場合に、本メッセージが表示されます。 本メッセージが出力された場合は、ツールの設定ファイルや装置情報ファイルが、読み取り専用になっている可能性があります。 設定ファイルや装置情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
24	装置情報のクリアに失敗しました。	[ファイル]-[新規作成]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
25	グループの追加に失敗しました。	[グループ]-[追加]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行って

		も表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
26	グループ情報の更新に失敗しました。	[グループ]-[編集]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
27	グループの削除に失敗しました。	[グループ]-[削除]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
28	装置の追加に失敗しました。	[装置]-[追加]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
29	装置情報の更新に失敗しました。	[装置]-[編集]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
30	装置の削除に失敗しました。	[装置]-[削除]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
31	グループ [グループ名] に対する装置情報取得に失敗しました。	[実行]-[装置情報取得]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 グループ内の装置が1台でも失敗した場合に出力されます。

		本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。 「装置情報取得に失敗しました。」
32	グループ [グループ名] に対する最大電力モード設定に失敗しました。	[実行]-[最大電力モード設定]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 グループ内の装置が1台でも失敗した場合に出力されます。 本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。 「省電力設定に失敗しました。」
33	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する装置情報取得に失敗しました。	[実行]-[装置情報取得]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。 「装置情報取得に失敗しました。」
34	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する最大電力モード設定に失敗しました。	[実行]-[最大電力モード設定]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。 「省電力設定に失敗しました。」
35	グループ [グループ名] に対する省電力設定に失敗しました。	[実行]-[省電力設定]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 グループ内の装置が1台でも失敗した場合に出力されます。 本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。 「省電力設定に失敗しました。」
36	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する省電力設定に失敗しました。	[実行]-[省電力設定]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージとともに出力される以下のメッセージの内容を確認してください。 「省電力設定に失敗しました。」
37	スケジュールの追加に失敗しました。	[スケジュール]-[追加]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。

		本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
38	スケジュール情報の更新に失敗しました。	[スケジュール]-[編集]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
39	スケジュールの削除に失敗しました。	[スケジュール]-[削除]操作に失敗した場合に表示される操作イベントログです。 本メッセージが表示された場合、再度操作を行ってください。再度操作を行っても表示される場合は、販売元に問い合わせてください。
40	装置情報取得に失敗しました。	装置情報取得操作に失敗した場合に表示されます。 本メッセージが表示された場合は、「 5.1 トラブル発生時の対応 」の「表 5-1 トラブル発生時の対応方法」を参照してください。それでもエラーが解消されない場合には販売元に問い合わせてください。
41	消費電力情報取得に失敗しました。	消費電力情報取得操作に失敗した場合に表示されます。 本メッセージが表示された場合は、「 5.1 トラブル発生時の対応 」の「表 5-1 トラブル発生時の対応方法」を参照してください。それでもエラーが解消されない場合には販売元に問い合わせてください。
42	省電力設定に失敗しました。	省電力設定操作に失敗した場合に表示されます。 本メッセージが表示された場合は、「 5.1 トラブル発生時の対応 」の「表 5-1 トラブル発生時の対応方法」を参照してください。それでもエラーが解消されない場

		合には販売元に問い合わせてください。
43	装置情報ファイルの保存に失敗しました。	[ファイル]-[保存]操作や、[ファイル]-[上書き保存]操作を行うと、「装置情報ファイル」と「スケジュール情報ファイル」の2つのファイルに、それぞれこの順で、ツール上の情報が保存されますが、最初の「装置情報ファイル」への装置情報の保存に失敗した場合に、本メッセージが表示されます。（この場合、「スケジュール情報ファイル」へのスケジュール情報の保存は行われません。） 保存先の装置情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
44	スケジュール情報ファイルの保存に失敗しました。	[ファイル]-[保存]操作や、[ファイル]-[上書き保存]操作を行うと、「装置情報ファイル」と「スケジュール情報ファイル」の2つのファイルに、それぞれこの順で、ツール上の情報が保存されますが、2番目の「スケジュール情報ファイル」へのスケジュール情報の保存に失敗した場合に、本メッセージが表示されます。 保存先のスケジュール情報ファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。
45	グループ [グループ名] に装置が存在しないため、グループ [グループ名] のスケジュール実行をスキップしました。	装置が存在しないグループに対するスケジュール実行は行われません。
46	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。（開始日時が同一のスケジュールが複数登録されています。開始日時が重ならないようスケジュー	ファイル読み込みの際、開始日時が同一のスケジュールを検知した場合に表示されます。

	ールを登録してください。ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号 1], [行番号 2])	
47	ファイル読み込み中にエラーを検出しました。(装置スリープの日数が46日以上で登録されています。装置スリープの日数は45日以内になるようにスケジュールを登録してください。ファイル名=[ファイル名], 行番号=[行番号 1], [行番号 2])	ファイル読み込みの際, 装置スリープの日数の不正を検知した場合に表示されます。
48	アプリケーションが起動しました。	アプリケーション起動時に必ず出力されます。
49	ファイルの読み込みが正常終了しました。	[ファイル]-[開く]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
50	ファイル読み込みをキャンセルしました。	[ファイル]-[開く]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
51	ツール上の情報をファイルに上書き保存しました。	[ファイル]-[上書き保存]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
52	ツール上の情報をファイルに保存しました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
53	ファイルの保存をキャンセルしました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
54	アプリケーションを終了しました。	[ファイル]-[終了]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
55	アプリケーションの終了をキャンセルしました。	[ファイル]-[終了]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
56	装置情報をクリアしました。	[ファイル]-[新規作成]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
57	装置情報のクリアをキャンセルしました。	[ファイル]-[新規作成]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログ

		です。
58	グループを追加しました。	[グループ]-[追加]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
59	グループの追加をキャンセルしました。	[グループ]-[追加]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
60	グループ情報を更新しました。	[グループ]-[編集]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
61	グループ情報の更新をキャンセルしました。	[グループ]-[編集]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
62	グループを削除しました。	[グループ]-[削除]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
63	グループの削除をキャンセルしました。	[グループ]-[削除]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
64	装置を追加しました。	[装置]-[追加]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
65	装置の追加をキャンセルしました。	[装置]-[追加]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
66	装置情報を更新しました。	[装置]-[編集]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
67	装置情報の更新をキャンセルしました。	[装置]-[編集]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
68	装置を削除しました。	[装置]-[削除]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
69	装置の削除をキャンセルしました。	[装置]-[削除]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
70	スケジュールを追加しました。	[スケジュール]-[追加]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
71	スケジュールの追加をキャンセルしました。	[スケジュール]-[追加]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
72	スケジュール情報を更新しました。	[スケジュール]-[編集]操作が正常終了し

		た場合に表示される操作イベントログです。
73	スケジュール情報の更新をキャンセルしました。	[スケジュール]-[編集]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
74	スケジュールを削除しました。	[スケジュール]-[削除]操作が正常終了した場合に表示される操作イベントログです。
75	スケジュールの削除をキャンセルしました。	[スケジュール]-[削除]操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。
76	グループ [グループ名] に対する装置情報取得を開始します。	指定グループ内の装置に対して装置情報取得を開始する際に出力されます。
77	グループ [グループ名] に対する装置情報取得が正常終了しました。	指定グループ内の装置に対する装置情報取得が正常終了した際に出力されます。
78	グループ [グループ名] に対する装置情報取得をキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、指定グループ内の装置に対する装置情報取得をキャンセルした際に出力されます。
79	グループ [グループ名] に対する最大電力モード設定を開始します。	指定グループ内の装置に対して最大電力モード設定を開始する際に出力されます。
80	グループ [グループ名] に対する最大電力モード設定が正常終了しました。	指定グループ内の装置に対する最大電力モード設定が正常終了した際に出力されます。
81	グループ [グループ名] に対する最大電力モード設定をキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、指定グループ内の装置に対する最大電力モード設定をキャンセルした際に出力されます。
82	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する装置情報取得を開始します。	装置に対して装置情報取得を開始する際に出力されます。
83	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する装置情報取得が正常終了しました。	装置に対する装置情報取得が正常終了した際に出力されます。
84	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する装置情報取得をキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する装置情報取得をキャンセルした際に出力されます。

85	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する最大電力モード設定を開始します。	装置に対して最大電力モード設定を開始する際に出力されます。
86	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する最大電力モード設定が正常終了しました。	装置に対する最大電力モード設定が正常終了した際に出力されます。
87	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する最大電力モード設定をキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する最大電力モード設定をキャンセルした際に出力されます。
88	グループ [グループ名] に対する省電力設定を開始します。	指定グループ内の装置に対して省電力設定を開始する際に出力されます。
89	グループ [グループ名] にスケジュール [スケジュール文字列] による省電力設定を適用します。	指定グループ内の装置に対してスケジュールによる省電力設定を適用する際に出力されます。
90	グループ [グループ名] のスケジュール [スケジュール文字列] による省電力設定を解除します。	指定グループ内の装置に対してスケジュールによる省電力設定を解除する際に出力されます。
91	スケジュール [スケジュール文字列] の開始日時よりも後から開始されるスケジュールが既にスケジュール期間中のため、スケジュール [スケジュール文字列] による省電力設定をスキップしました。	[スケジュール文字列]で指定されるスケジュールを実行しようとしたが、既に後続のスケジュールが実行中のためにスキップされた場合に出力されます。
92	グループ [グループ名] に対する省電力設定が正常終了しました。	指定グループ内の装置に対する省電力設定が正常終了した際に出力されます。
93	グループ [グループ名] に対する省電力設定をキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、指定グループ内の装置に対する省電力設定をキャンセルした際に出力されます。
94	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する省電力設定を開始します。	装置に対して省電力設定を開始する際に出力されます。
95	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する省電力設定が正常終了しました。	装置に対する省電力設定が正常終了した際に出力されます。
96	装置 [IP アドレス(装置名)] に対する省電力設定をキャンセルしました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する省電力設定をキャンセルした際に出力されます。
97	処理を中止します。	装置に対する処理を中止する場合に表示

		されます。
98	装置情報取得を開始します。	装置に対して装置情報取得を開始する際に出力されます。
99	装置情報取得が正常終了しました。	装置に対する装置情報取得が正常終了した際に出力されます。
100	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する装置情報取得をキャンセルした際に出力されます。
101	装置 [IP アドレス(装置名)] は [モデル] [ソフトウェアバージョン] のため、消費電力・累計電力量の取得をスキップしました。	装置に対して装置情報取得し、モデルまたはソフトウェアバージョンが消費電力・累計電力量取得に対応していないため、取得をスキップした際に出力されません。
102	省電力設定を開始します。	装置に対して省電力設定を開始する際に出力されます。
103	省電力設定が正常終了しました。	装置に対する省電力設定が正常終了した際に出力されます。
104	処理を中止しました。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し、装置に対する省電力設定をキャンセルした際に出力されます。
105	対象装置は既に指定の省電力設定が行われた状態のため省電力設定をスキップしました。	スケジュールで設定しようとした省電力設定が対象装置に対して既に行われているため、設定をスキップした場合に出力されます。
106	スケジュールによる省電力設定（カスタムモード）はグループ[グループ名]内に装置が複数登録されているため、スキップしました。	スケジュールで設定しようとしたグループに対して複数装置が登録されている場合に出力されます。
107	省電力設定解除をスキップしました。（同時刻に開始する他のスケジュールにより最終的な設定が行われます。）	同一グループで、あるスケジュールの終了時刻と別のスケジュールの開始時刻が重なっている場合に出力されます。
108	スケジュールによる省電力設定が未適用のため省電力設定解除をスキップしました。	スケジュール適用中のグループに対して装置を追加した場合、その装置に対する省電力設定はスキップされます。このメッセージは、適用中のスケジュールが終

		了する際に出力されます。
109	装置モデルが AX6300S シリーズの場合は、節電モードの設定内容と最大電力モードの設定内容が同一のため、装置情報一覧テーブルの省電力モードの表示は「最大電力モード」にします。	装置モデル AX6300S の装置に対して節電モードの省電力設定を行った後、装置情報取得操作を行った際に出力されます。
110	ログのファイル出力に失敗しました。	動作ログのファイルへの出力に失敗した場合に出力されるエラーメッセージです。動作ログの格納ディレクトリの作成に失敗したか、動作ログファイルの書き込みに失敗しました。 動作ログファイルを外部のエディタで開いている場合は閉じてください。動作ログファイルおよび出力先ディレクトリが読み取り専用属性になっている場合はアクセス権を設定してください。 動作ログファイルおよび出力先ディレクトリについては設定ファイル内容を参照ください。

5.3 ログファイル

省電力管理ツールでは以下 2 種類のログファイルが障害解析用に出力されます。それぞれのログファイルに格納される情報および格納先ディレクトリを説明します。

- ・動作ログファイル

ログ情報テーブルに表示された内容すべてを記録したファイルです。デフォルトでは、以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>%EnergySavingTool%\table-log

<TARGETDIR>…AX-Networker’s-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker’s-Utility

- ・デバッグログファイル

省電力管理ツールの動作内容や、エラー情報を記録した障害解析用のファイルです。デフォルトでは、以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>%EnergySavingTool%\trace-log

<TARGETDIR>…AX-Networker’s-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:\Alaxala\AX-Networker’s-Utility